

体験文集
Vol.2 夏号

体験文集
Vol.2 夏号





體驗文集
Vol.2 / 夏号

CDから電流が……！！

お風呂も、冷蔵庫も仲間から聞いたりするのと同じだから、どうしようと思いました。

故郷のCDをテーブルに置いてあるのですが、なにげなく、手を置いたら、すごい電流が一瞬に流れたのです。

びっくりしました。あれは何だったのかと考
えても分かりません。

ただ、びっくりと、嬉しかったです。

すべての愛のグッズは「愛のエネルギーが流れているんだ」と思いを新たにしたい一件でした。



『愛の体験』

—患者さんとの体験—

愛のグッズを通して、田池留吉を思い「私は愛の存在、愛は流れる」という信を深めていく実験をする中で、嬉しい体験がありました。

私は、仕事で精神病の方の相談を受ける機会が多くあります。

その中で、約二十年間、精神病で入院を繰り返し、ここ数年は自宅にひきこもり状態の方がおり、ほとんど話もせず、通院もしなくなつて困っている、家族から相談を受けて、家庭訪問した時のことです。一回目の訪問時は、『会いたくない』と言いながらも、母親が声をかけるとすぐに部屋から出てきて、こちらの問いかけに小さな声で応えて下さり、悩んでいることを話してくれました。

二回目は、状態が悪化して、母親とも話さな

くなり、母親の問いかけにも首を振ったり、頷いたりするだけで、ほとんど薄暗い自室で過ごしていると相談があり、訪問すると前回とは変わって表情も硬く、顔も横を向いたまま一言も話してくれません。なんとか座って話しを聴いてはくれるものの、こちらの問いかけに時折、頷いたり、首を振ったりするだけで話しが続かず、私自身も対応に困ってしまいました。

その時、カバンの中に「愛のボールペン」があることを思いだし、患者さんに少しでもリラックスしてもらえたらと思い、一緒に「リラクゼーション法」をやってみることを提案すると受け入れて下さったので、「愛のボールペン」で患者さんの腕や背中をゆっくりさすってみました。しかし、状態の悪い患者さんに、そのよ

うな試みをするのは初めてでしたので、こちら
も不安だったこともあり、あまり気持ち良さそ
うな様子ではありませんでした。(笑)

そして三回目の訪問時、相変わらずの状態で、
家族も疲れていると母親から聞いていたので、
今回は本人とお母さんも一緒に面談することに
なり、「今日は面白いものを持ってきました」と
と説明しながら「愛の卵」を袋から取り出すと、
患者さんが急に笑い始めました。今までいつも
顔をしかめて、暗い表情で過ごされていたので、
お母さんも私もビックリしましたが、卵を見る
たび可笑しくてたまらないという感じで、何度
も何度も笑っていました。そこで、「この卵で
マッサージすると、とても気持ちいいんですよ」
と話しながら、また一緒に「リラクゼーション
法」をやりました。

患者さんの背中を「愛の卵」でさすっている
間もよく笑うので、お母さんもとても喜んでい
ました。「この卵は自分でさすっても気持ちい

いけど、人にさすってもらうともっと気持ちい
いんです」と私が言うと、患者さんが無言で手
を差し出して「愛の卵」を取って、私の背中を
さすってくれたのです。まさか患者さんがそん
なことをしてくれるなんて思いがけなかったの
で、私もとても嬉しくて「ありがとうございます。ありが
とう」と感謝しながらさすっていたきました。
さらに驚いたのは、訪問した後、ひきこもつ
ていた患者さんが近所の病院を受診したそう
で、主治医の先生もとても喜んでおられました。
私自身も貴重な体験をさせていただき、これか
らも「愛の実践」を重ねて、信を深めていきたく
いと思います。

ありがとうございます。

実験しながら気付いていったことは……

一月のある日、お舅様が花束を貰ってきた。その中に枝が三方に見事に張り出した百合が一本入っていた。花も蕾も勢いのある方の枝をお舅様に向けてテーブルの上に置いた。数日経ったある日、お舅様に向いている百合は直ぐに萎れてしまうことに気付いた。これは完全に開くだろうと思われる蕾も途中でしぼんでしまう。私の方に向いている百合は開くか開かないか分からないほど蕾も小さくて勢いも今一なのに、なぜか元気に開いていく。

えっ、元は同じなのにどうして……?!

実は、私の方に向いている花に向けて反転実験をしていました。まさか、そんなこと、起り得ないと半信半疑で反転実験をしていました。でも現実に起きました。やっぱり私と対象

物との間に、目には見えないけど何かエネルギーが働いているみたい。目には見えないけど繋がっているモノがあるみたい。学ぶ中で薄々は気付いていたけど、はつきりと知りたい。そんなことから、切り花の実験を開始しました。

実験1 切り花の実験

(平成二十六年一月三十日～二月十日)

用意したもの：バラ二本、ガーベラ二本、コックプ四個、水道水、ラベル

・花を置く位置を決める。

A (田池留吉に思いを向けてふっと思いを向けるモノを置く場所) と

B (そのままのモノを置く場所) に印を付け

る。(実験の際に出てくる疑問点を取り除いていくため条件を同じにして実験を重ねていく)

※ここからは、Aとは、田池留吉に思いを向けて対象物にふっと思いを向けたモノを指し、Bとは、そのまま何もせずにおいたモノを指します。

一月三十日(木)

花は、近所の花屋さんのショウケースに入っている花を選んで購入しました。見かけはほとんど同じですが、よく見ると、僅かですが違いがあります。Aの方には、どちらかというと早く傷んで枯れそうなバラとガーベラをセツトし、Bの方にはどちらかという勢いのあるバラとガーベラをセツトしました。Bの方のバラは葉の勢いが良くて今にも開きそうです。Bの方のガーベラは殆ど見かけは一緒ですが、花首もわずか太めでしっかりしています。

※実験途中で風を受けて曲がった花を、花には触れずにコップをわずかですが動かしたことが二度ほどあります。



写真① 向かって左側がAです

一月三十一日(金)

一月三十日の日には写真を撮りませんでした。田池留吉に思いを向けて対象物にふっと思いを向ける、ということが、対象物にこれほどはつきりとした現象を起こすとは思ってなかったからです。Aの方のガーベラの花弁が踊るように開いたからです。エネルギーは瞬時に働いて本当のようです。あまりにも驚いたので、自分のために残しておこうと思い、三十一日から写真に残すことに決めました。

向かって右側の花の隣にテレビがあります。テレビの陰で少し日が陰ります。なので、右側を少しだけ前面に出して置いてあります。真中のピントの物は鉄アレーです。仕切りに使いました。

二月七日(金)

Bの方のバラの花が萎しおれました。葉も萎れかけています。Aのバラの葉と比べると萎れた感じが良く分かります。

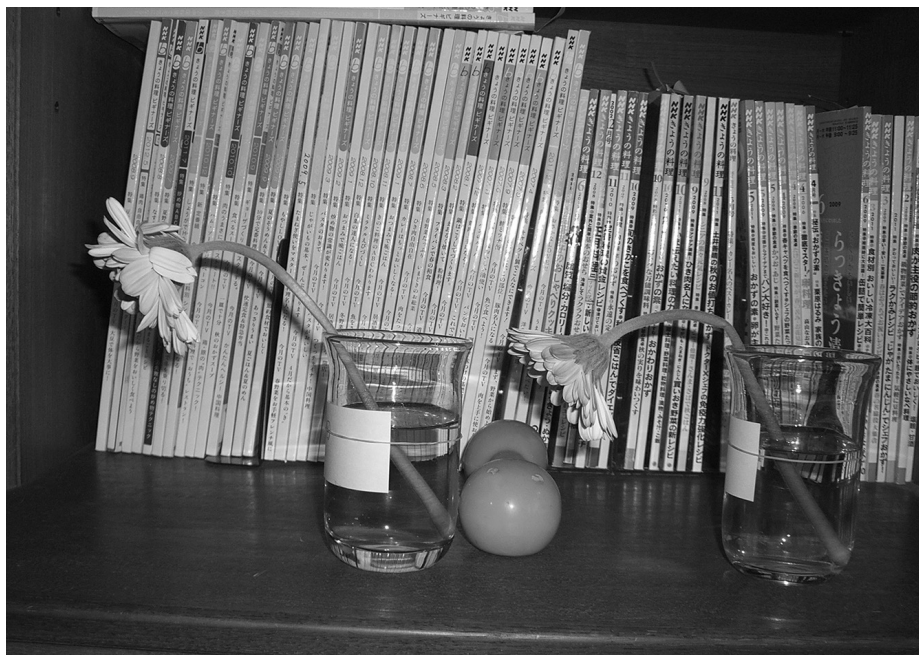


写真②

二月十日(月)



写真③(上) / 写真④(下)



Bのバラは萎れてしまいました。ガーベラの茎の途中も折れてしまいました。Aのガーベラの花弁の様子もよくお分かり頂けると思いますが。Aのガーベラは三月五日頃まで開いていました。

※バラとガーベラの実験結果には驚きました。

た。田池留吉に思いを向けて対象物にふっと思いを向けたバラとガーベラと、しないものとの差は歴然としていて、これほど愛のエネルギータとは凄いものなのか驚いています。勢いの弱い花たちの方が長持ちしたという事です。

一つ残る疑問は、置いた位置が少なからず影響しているのではないかと、ということですが。その疑問を解消するために、置く位置を交換して実験してみることにしました。



実験2 切り花の実験
(二月十日～三月二十七日)
用意したもの：バラ二本、ガーベラ四本、コップ四個、水道水、ラベル

二月十日(月)

今度は向かって右側をAとして開始です。

オレンジのバラ二本、ガーベラ四本を購入し、バラ一本、ガーベラ二本とも勢いのない方をAとしました。Aのバラは葉が最初から少し折れ曲がっていたり茎も曲がったりで少々勢い

がありません。ガーベラは花の首が細めです。

心はめちやくちや動きました。

「もう嫌、こんな勢いのない方の花たちをAにしたって、絶対にダメに決まっている。勢いのない方がそのまま先に勢いがなくなってしまうたら……エネルギーを信じない心が、自分を信じられない心が出てしまったら嫌だなあ」と、心は揺れに揺れましたが、そんな心配も無用でした。

二月十一日(火)

驚きました。やはりエネルギーってその瞬間に働くということでした。勢いのなかった花たちの方が、田池留吉に思いを向けてふっと思いを向けただけなのに、もう本当に勢いずいているんです。ガーベラの花弁が開いて踊っているという感じなんです。肉眼で見ると良く分かりません。こんなに凄いの。早く開いた感じですが、でも早く開いた分早く枯れてしまうのではない

か……少々心配です。

二月十七日(月)

一週間目の今日、Bの方のバラの花が萎れしました。前述した通りBのバラに葉の勢いのある



方を選んだのにも係らず、葉も少し萎れ加減になってしまいました。Aの方のバラは最初から葉が折れていたり、葉が水についてしまっていて、Bに比べ勢いがなかったのに……元気で

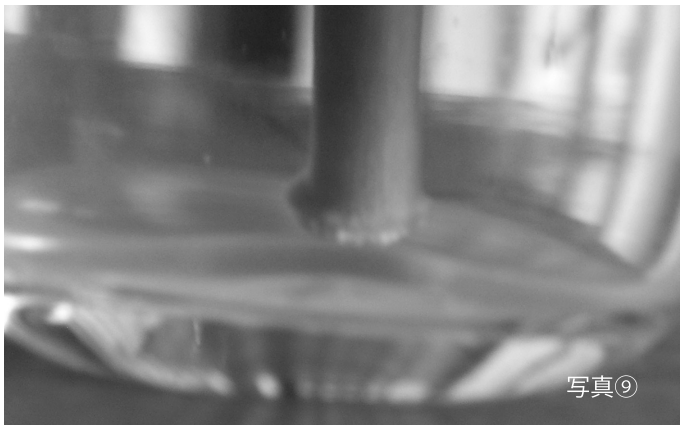
す。またまた驚いています。

二月二十三日（日）

Aのバラはまだ開いています。葉も元気です。

Bのバラは花も葉も枯れました。

ガーベラはAの方が花の色が鮮やかです。



三月十八日（火）

三月十一日頃、Bの赤いガーベラの花弁に斑点が出てきた。ピンクのガーベラの茎にも斑点が出てきた。Aの方は、花にも茎にも斑点は出ない。ただ、一つ気になるのは、Aの赤いガーベラの茎の折れ具合。先に折れちゃうかもしれ

ない……と心配したけど、心配無用でした。先に折れたのは、Bの赤いガーベラでした。

Aの方の花の色は鮮やかで元気です。肉眼で見れば、その差は歴然としています。また、Aの方のバラの切り口に根が出てきました。見れば水もきれいです。水のことはいまあまり気にしてなかったのですが、水まで澄んでいます。

三月二十一日(金)

ガーベラの水が減ってしまったので、水道水を九〇CCずつ足しました。Aの方に加える水には、田池留吉に思いを向けて水にふつと思いを向けました。Bに加える水はそのままです。

三月二十七日(木)

ご覧の通りの結果となりました。

Aの赤いガーベラの茎はまだ折れてません。バラは根が出て来たので植木鉢に植えました。成長してくれるのを楽しみにしています。



ピンクのガーベラは四月八日まで元気でした。

※花の置く位置はほとんど影響してなかった、という結果でした。

愛のエネルギーには、計り知れない力があるみたいです。

実験3 猫草の実験

(三月二十八日～四月二十七日)

猫は健康維持のために猫草を食べたがります。猫草の芽が早く出揃いいつまでも若々しくあれば最高の猫草です。早く口にすることができずし、いつまでも柔らかくて食べ易い草だからです。賞味期間が長いということです。

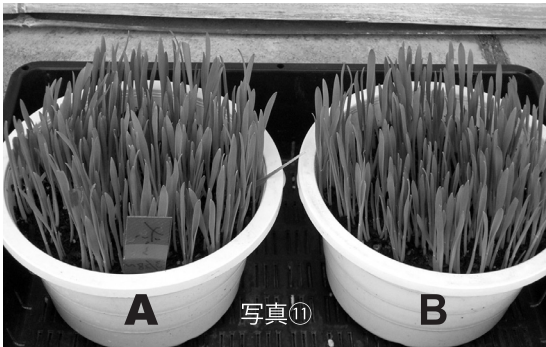
実際そんな猫草が出来上がってしまいました。

まさかそんな結果が出ようとは思いませんでした。発芽率が良くなるのかなあ

……と予想しただけでした。

三月二十八日に猫草の種「ベジタリニャン」一袋六〇mlを二鉢に三〇mlずつ分けて蒔いて、Aにする方の鉢の下に愛の円盤を敷きました。AとBの鉢二つを揃えて水をあげました。愛の円盤は直ぐに取り払い、後は普通にAとBに水道水をあげてきました。

四月七日(月)



写真①

オレンジ色のラベルを立ててある方がAです。

Aの方が早く発芽したにも係らずAの草の方が若い。Aの草の方が黄緑に近くBの草の方が緑が濃いです。バラの花の実験結果と同じになりました。早



く開いておまけに長持ちするということです。若々しさが続くということですよ。

愛猫（ミミ）が最初に口にしていたのが、Aの猫草でした。Bの方の猫草の匂いを嗅いでから、Aを口にしました。

四月十四日（月）

猫草の側に夫とミミが寄ってききました。ミミはAを食べています。

夫に「こっち（A）の方が黄緑だと思わない？」と尋ねたら、「うん。」と言いました。

写真は、ミミが食べている方がAです。ミミはBの



前に座っても、Bは食べずにAの方に身体を伸ばして食べたりにしています。この写真は反対側から写しました。

四月二十一日（月）

ミミはAもBも食べますが、Aの方の草を好んで食べているようです。草の置き場所が食べ

易さに影響しているのではないかと思います、AとBを入れ替えて置いてみたりしています。ミミはAの方が好きようです。結果、Aの方が丸刈りになりました。葉は相変わらずAの方が

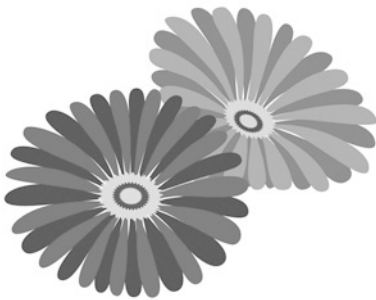
黄緑（若葉）に近いです。（分かり易くするため、鉢を倒して写しました。オレンジ色のラベルは日に焼けて色が薄くなっていました。）

四月二十七日（日）

Aの方は、根がしっかり張っているためか水持ちが良く葉も青々としています。Bの方は、枯れた葉が目立つようになりました。

※実験しながら気付いていったことは、まず本来の立ち位置でした。この立ち位置に既に立っている自分に素直になれば、愛を流そうとしなくても愛は流れている、既にひとつの温もりのエネルギーが流れ合っているということでした。愛に成ろうとしなくても既に愛ひとつだ、と教わりました。色々な体験を通して、心を見ることを通して、自分の中の田池留吉に思いを向けるだけ、ということがようやく分かりました。

ありがとうございます。



愛の円盤を使った実験、 体験

* 前夜、かなりひどいびきをかいていた家族の枕の下に、愛の円盤を敷いて寝てもらった。その夜はいびきが出なかった。普段は、夜中一、二回トイレに行くのに、一度も起きずに熟睡できたらしい。

* 最近、水（常温）を飲んだとき、奥歯にピリツと痛みが走った。三日後に、ほかの件で歯医者予約をしていたので、それまで待ってみようと思ひ、その場で思いついた実験を試してみた。

綿棒を水で湿らせて、愛の円盤をさつと撫で、田池留吉に思いを向け、その綿棒で、痛んだ歯と腫れている歯茎のあたりを、「ごめんさい、ありがとう、大切にしますから、もう少しの間働いてくださいね」と語りかけながら、そつと優しく撫でてみた。

その歯は、歯茎がかなり後退しているので、時々腫れたり痛んだりすることがあるが、普通は、痛み始めると、フロスをしたり歯磨きをすると、何日間か、長い時は何か月もピリピリと痛むのに、今回は、次の日の朝には、痛みが消え、歯茎の腫れもよくなっていた。これには驚いた。歯医者さんにその歯を見てもらったら、その痛みは、虫歯ではなくて、知覚過敏だといわれた。ひどければ、知覚過敏の歯磨き粉を使ってくれ、と言われたが、その必要もなく治ってしまった。その後、何度か、また違う場所が知覚過敏になったが、また同じようにやってみたところ、すぐに痛みがなくなる。引き続き、歯茎が腫れたり、少し圧迫感を感じたりしたら、すぐにこの方法を試している。

愛の円盤での体験談

七十歳を過ぎ、目や歯は急速に衰えていく
か、心臓が最近、体が疲れると先に疲れが来ま
す。そんな時は体を横にして休憩します。

夜、寝るときは左を横にして寝るとトントン
と脈を打つ音で寝にくくなりました。

セミナーから帰り、半信半疑、愛の円盤を心
臓にあて肉体細胞に「ありがとう、ごめん、あ
りがとう」を思い寝ていました。

最近、心臓が楽になっています。トントンの
音も軽くなつたし、本当に楽になりました。こ
んな事もあるのかな？

これって愛のエネルギーでしょうか？

今年いっぱいこのセミナー頑張つて行かせてい
ただきます。



愛の円盤などのグッズを使った体験

お墓を処分しました①

怖くて、怖くて、行きたくなかった墓と寺。

最近、十八年前に亡くなった主人の墓を処分することになり、石屋さん・主人の妹と私で段取りをするために寺へ行くことになりました。

本当は、あの頭が締め付けられるような寺の空気が嫌で嫌で行きたくありませんでした。

「たくさんの意識たちに、学びの事を話してあげたらいいんだ」と思うのだけど、やっぱり行きたくありませんでした。

案の定、寺に近づいたころから漂う重苦しい空気。

私は、お守りのように、愛の円盤と愛のハンカチを胸に抱いて、お寺に入りました。

墓の処分の日程を決めるために来たつもりが

「ついでに簡単に魂抜きしときましよう。お墓の前で待っていてください」と住職。

え〜〜〜つ、今ですか……。

突然の先制攻撃に断るすべもなく「仕方がない。何でもこいやつ」とばかりに、覚悟を決めました。

「簡単に……」と、言ってもらったのが救いでしたが、それでも長く感じたお経の間、私は愛の円盤を抱きしめ、田池留吉にひたすら向けようとしていました。

「私達は、間違ったことしてきたね。一緒に田池留吉に向けていこうね。」

周りに建つたくさんのお墓に話しかけていました。

そして、自分にも言っていました。

「こんな愚かなことをしてきたんだね。間違ってきたね。」

なぜかわかりませんが、お経が終わった時、涙が出てじんわりと嬉しい気持ちでした。

そして、周りのお墓がみんなこつちを向いて喜んでるようにみえました。

肉の世界しか信じられず、見えない世界を怖い怖いと思い、ほんと他力どっぷりの私を確認しました。

でも、お経を聞きながらの苦しい世界でも田池留吉に向ければ、嬉しい思いも感じられるんだなあと不思議な気持ちでした。

家に帰ってからもまだ頭が痛く、田池留吉に向ける瞑想をしました。

次から次へと異語がでてきて、なんだか墓の人たちが口々に「そーなんや、知らなかったあ」と、言ってるような気がしました。

骨はゴミですと教えられても、ゴミと思えなかつたり、寺の人たちを何も知らないからと上

から目線で見たり、心に響く苦しいものはあつち行け〜と思ったり、やっぱりまだまだ自分が愛だなんて信じていないんだなあと確認させられた出来事でした。

お墓を処分しました②

驚きました。不思議で嬉しい驚きです。

私達は一週間後、墓の撤去工事の日に遺骨を受け取りにお寺を再訪しました。

お寺へ近づくと、アレレ？ 苦しくない。それどころか異語がでてくる……。

嬉しい気持ちがかみ上げてくる。アレレ？

昨日までは死を連想させる遺骨を見るのが怖くて、受け取つたらすぐに代理散骨をお願いしてあった会社送ろうと考えていました。

遺骨を目の前から消し去りたい気持ちでした。

お寺の訪問も、またあの重い空気に襲われる

のかと……。

今度はお守りのようにはなくて、愛の円盤で墓石をなでたり真面目に田池留吉に向けたりと前回のリベンジをするつもりでいました。

ところがです。

墓地の空気が全く違うのです。

作業途中のみなさんが穏やかに迎えてくれて、墓石や縁石がほぼ取り除かれたあとの土の上でのお話。

「それがね……。骨がないんですよ。亡くなられて十八年。若い方の骨ですし五十年経たないと無くならないはずが、どこを探してもその形跡がないんです……。」

「え……。確かに布に包んで入れたの見たんですけど……。」

これまた、驚きです。

昨日までの恐怖はなんだったのだろうか。

自分が勝手に作り上げてきた世界で、心から出てくる思いと独り戦っていたのが絵に描くよ

うにわかりました。

そんな話の行方を、周りを囲むお墓のみなさんがニコニコして一緒に談笑しているような、見守っているような雰囲気でした。

前回は前の一点だけを見つめて歩き、早く立ち去りたい気持ちでしたが、今回はいつまでもここにいられるような温かい空気が流れていました。

この墓を作った姑と中に入っていたはずの夫に笑顔で「ほらね」言われているようなかんじもしました。

本当になんだったんでしょねえ。

今でもお墓に向けると嬉しい気持ちがかみあげてきます。

姑に他力信仰を教えられ（と思っていました）、主人が亡くなつてからは姑と私の間にセミナーとの宗教戦争があり、闘病中に姑は学びを心から受け入れ亡くなる前に墓の処分を頼んでいきました。

姑に対して恨みつらみがいつぱい出ましたが、今は全てがよかったと思えます。

この流れがあつたからこそ、そして墓の処理をせざるを得ないようになったからこそ嬉しい体験ができました。

不思議です。嬉しいです。



湯冷めしないお風呂

一、私は車の運転をしません。我が家の車は十数年になるのですが、娘が毎日通勤に乗って行きます。

ガソリンを入れた後、愛のカードをハンドルに付け、反転しました。反転をする前はガソリンの伸びが良くなかったそうです。しかし、その都度反転すると、ガソリンの伸びがものすごく伸びていると、驚いていました。

車の事が好きだと話していました。その思いも大切なんだな……と思いました。

二、お風呂でカードと反転した水を使って。

風邪をひくことの事のなかった孫と私が、カードと水に「田池留吉ありがとう」と思いを向けた後、お風呂に入れて入りました。風邪を

ひいたらお風呂は控えていたのですが、熱も高くないので入りました。湯冷めしない事に驚き、今までは長引いていた風邪は、カードと愛のエネルギーで早く治りました。驚きです。

三、植物にも反転した水を与えています。冬はどの植物もすぐに枯れたり弱ったりしていたのですが、その水を与え続けていくと、生き生きとして冬越しできました。すぐ心は外に向く私にとって、信じる心を周りは伝えていくれています。ありがとうございます。



何が何でも変わらないと……

心の見方、本当に、素直になつていくしかない。

田池先生に、ありがとうございますの思いがあれば、必ずやっていけると、今日、瞑想をしていて、何度も思いました。

私は、「素直が本当に難しいんだ」と、今日、体操から帰ってから、何度も思いました。

今も、本当にこれが、素直なのかよくわからない中、メールさせてもらっています。

自分の中から、出てきた思いに、その時、素直に従えれば、私は変わっていけると、今の私は思っています。

ただその時、「えー、なんで今、そんなことしなあかんのー」とか、時間に縛られている思いつか、そんな思いで、素直に従えません。

……とは、書きたくありません。

退院してから、一度か、二度かは、しっかりと従った感じがあります。

そのときは、肉でも、こっちで良かった。そんな感じがあります。

それを、もつと、しっかりと続ける。を、やってみるしか、ないと思つています。

私も、何が何でも変わらないといけない。

愛の道具をつかって

思うことの大切さ、思いを向ける、信じることの大切さを軽く見てきました。

沢山の戴いたグッズも、他力的に捉えていた私でした。

あまりにも恵まれ過ぎていて、ぬるま湯の中で、過ごしていたように思います。

そんな日々の中、風邪を引いたのでもないのに、喉の奥が痛くなりました。

そのうち治るだろうと思つて様子を見ていましたが、何日たつても喉の奥の痛みが治まりません。

どうしたんだろう……だんだん恐怖が出てきました。

亡くなつた夫の死因が浮かびます。

中咽頭がんでした。入退院を繰り返し、最後は声も出せず苦しんで苦しんで死にました。

私もそうなのかな？ 夜寝ていても痛くて目が覚める。

そんな状態だったので、明日こそ、明日こそ思い切つて病院へいこう。そう思っていた時に、田池先生が水素水の説明をされているセミナーを見ました。

「そうだ、病院へ行く前にとにかくやつてみよう」と思い、愛のハンカチに水素水を含ませ、愛の円盤の上に乗せて田池留吉を思いました。

そして痛い喉の辺りにハンカチをあてて、肉体細胞に思いを向けました。

ありがとう、ごめんなさい、ありがとう。

私が求めていたものは、肉の幸せ喜びでした。そこから外れていくものには恐怖でした。こんなちよつとしたことでも、恐怖する、愚かな小さい小さい私でした。そんな私に肉体細胞は間違っていると、教えてくれました。

ハンカチを当てて、三分ほどして外してみました。

まだ喉の奥には少し違和感がありました。辛さはありませんでした。

でも、また明日になったら分からないけど、明日またやってみようと思いました。

翌朝、同じように水素水を使ってやってみました。

すると、全く痛みが無くなっていました。

こんな事って、あるの？

あんなに痛かったのはなんだったの？ 不思議でした。

そして、自分の肉しか信じていない愚かさを

認めざるをえませんでした。愛の円盤を通して田池留吉を思う、信じるこの大切さを気づかせていただきました。

他力ではなく、愛のグッズも意識としてこれからは大切に扱っていききたいです。



愛の草書体体験文

一年半前、大宝の町に引越して来て印象深かったのは、周りに住んでいる学びの仲間の人達がいかに真剣に愛の草書体を使った実験に取り組んでいる事でした。

それ以来、「一緒に瞑想をしたり実験をしましょう」と誘っていただいたりして、一人で東京に住んでいた時分には出来なかったような勉強の仕方を経験する機会を持たせていただいて来ました。

草書体をラミネートしたものを使って色々な実験が行われましたが、試みた実験の中に音を使ったものがありました。

この実験は、中からこみ上げてくるものはつきりと確認され、「この込み上げて来るも

のは一体何なのだろう」と実験をするたびに不思議に感じました。

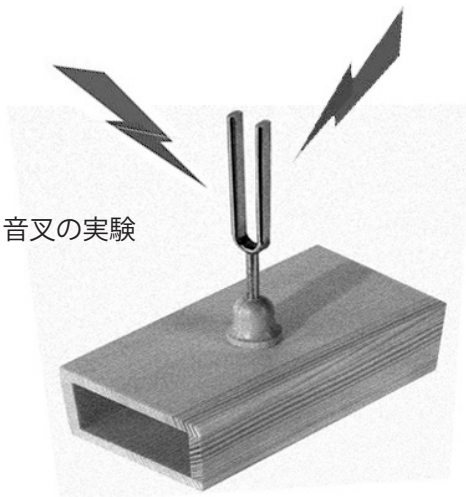
何回やって同じ結果が出ても、確かに何かを感じても、それでも信じられない、「今自分が経験した事は本当なのだろうか」「自分がそういう結果を望んでいるから反応しているのではないか」、そんな思いが今でもあるのを感じます。

でもただ瞑想を続けていこう、勉強を続けていこう、そう感じていきます。

草書体のラミネートはいつも持って瞑想しています。それから勉強会の時に頂いた小さなピンのブタのスポンジがあるのですが、これをお風呂の中に入れなさいとの事でした。

自分がまずお湯の中に入り、スポンジの方
心を向けてから、それを湯船に浮かばせるよ
うにしています。

草書体に触れさせた水、又は自分で「反転」
とした水は、飲んだ後もほんの数秒の間ですが、
体内に入った水の方に思いを向けるようにし
ています。



音叉の実験

これは、私の分身ではなく私自身です

一番始めに、先生の講話を聞いて気付かされたのは、「これは、(愛の円盤等)、私の分身ではなく私自身です。」という所で、まず、がーんときました。私は、円盤等、常に使っていて、まるで、私の分身のようです、とメールで送った所でした。

それと、やはり、一瞬にして出ている他力の思い、治せ、とか、変えろとかいった思いに、常に気をつけていなければならぬと思えました。円盤等、田池留吉に心を合わせるその事が一番大事だと、肝に銘じながら、使っています。さて、驚く程の効果が、沢山ありますが、主なものだけ、報告します。

まず、一番始めにとても驚いたのは、日光浴をしていて、顔に円盤を載せた時の事です。正

直、眠ってしまったのですが、十五分から二十分だと思えます。起きた時、何と目の色が変わっていたというか、クリアーになっていました。それと、長年あった、眉間のしこりが無くなっていました。これは、普通の人は頓着しないと思います。私は、体に関する仕事をしているので、とてもびびりました。長年といっても、それこそ、三十年以上のものです。常に、気になっていた軽いしこりです。それが、無くなりました。そして、今も、無いんです。

それから、たびたび、顔に載せます。主に寝る前とかですが……先日、だんだんエネルギーが伝わって来て、後頭部に響いている感じがしました。これは、何らかの形で、愛のエネルギーが、その部分い働いて、いわば、蘇り

効果を発しているのだと認識しました。そうとしか思えないぐらい、頭の内部が、がんがんとしたのです。

翌朝、すっきり、すつと、何時もより短い睡眠時間で自然に起きられました。

冷蔵庫、お水の器械、これは、もう、私の命を守ってくれているとしか言いようがありません。お水は、一段とおいしいです。しかも水素水で飲んでいるので、本当に凄いです。お風呂も、凄いです。お風呂の時間は、瞑想の時間となっています。冷蔵庫で一番分かりやすいのは、チーズです。安売りに出ていたチーズを買って来ました。食べてみて、ああ、失敗した……と思ったのですが、一晩冷蔵庫に入れたら、翌日は、全く味が変わっていました。まるでコクのある味になっていました。チーズは、日本では余り種類はありませんが、こちらでは色々あって、本当にそのおいしいチーズを味わって、食べています。ありがとうございます。

最期に、孫の手ですが、これは、余り、期待していませんでした……何と言っても、なんかオジン臭いし、私には関係ないと思っていました。

が……これが何と、凄いんです。私は、ご存知のように歌を歌っているのですが、なんか調子が出ない時とか色々あるんですが、そのとき、この孫の手を、まあ言えば、指揮棒のようにふって、あるいは、エクササイズをする時のように振って、リズムに合わせて、歌いました。と、何と、ピッチがどんどん合ってくるし、それにリズム感の何となく乗り切れない時とか、すつと、乗れるんです。これには、本当に驚きました。正に、魔法の何とかわいた感ですが……愛のエネルギーの凄さに、驚嘆しました。特に、これには、全く期待していな



かつたので、特別です。今では、必ず、練習のとき使っています。

最期に、先生にいただいた、お箸です。本当にありがとうございます。

本当に細かい所まで、私達の心と命を先生に、ケアーしていただいています。しかも直に、です。こんな人生は曾てありませんでした。長い転生の中で、今世を機に私も確かに変わってゆきます。「これが最後の機会です」という、緊迫感を持って、後残された、セミナー、私もこのように死ぬまで、元気で、この学びを来世に繋ぎ、そして、人類生息不可能になる地球に、「ありがとう、さようなら」と言って、次元移行してゆけるよう、頑張ります。ありがとうございます。来世での出会いを楽しみにしています。



音録りの現場で……

体験談①

今の自分の仕事は主にナレーターと声優養成所で発声や表現技術を教えることです。

先日、生徒さんたちに緊張を抜くための一つの参考例として、ロルフイングのやり方を伝えました。

例えば、前屈で、自分は体が硬いと思ってる人に、前屈と同時に別の作業をやらせる（例えば前屈しながら丁寧に「の」の字をゆっくり何度も書かせる、など）ことで、自分は硬い！と思いついでいる脳が、別の作業に追われて自分が硬い！をちよっと忘れると前屈が予想以上に床に手が近づくことを体験してもらいました。

その中でも「我こそは特に硬い！」方々を十名ほど選抜して、いくつかロルフイングをやった後、例の「田池留吉を思う」をやってみようと思いました。

とは言え、生徒さん達に「愛」の円盤を持たせたり、田池留吉を思ってから前屈……は流石に出来ないですから、0歳の自分を思ってから前屈をしていただきました。

「今、五歳。三歳。一歳……」と喋りながら誘導して、「0歳です。その時は誰を恨むことも、怒ることも、嫉妬や妬みも、落ち込むことも何も無い時でした。お母さんに抱かれて、とつても嬉しかっただけの、ありがとうで一杯だったご自分を思ってください。何となく今そいう

ふうに思ってるなあ……と感じた方からゆつくり前屈をしてみてください」と、実験をしました。

前屈の伸び方には個人差はありましたが、全員がスルスルっと伸びました。手が届かなかった方も、床に付いたり、それぞれ驚きの様子でした。

それを見ていて、彼らの素直さに自分が一番驚きました。

まさか全員に効果が表れるとは正直思ってたんですけど……。

教えてる自分が一番素直ではないなあ、と苦笑いのレッスンの一コマでした。

体験談②

音声収録の時は、いつも必要以上に緊張したり、早く終わらせようと頑張ってみたり、リテイクが何度も出ると、「なんだよ！別に悪くねえじゃん！」とか、すぐに反発して、まともに落

ち着いて収録に臨めた事がほとんどありません。先月末、「愛」の円盤を持つての初めての収録に行ってきました。

ブースに入って、円盤でマイクやらの機材にタッチ。頭と口にさっと触れて、原稿の下にスタンバイ。右手には愛のペン。これで収録ブースは愛のブースに。

緊張する収録現場ではありますが、何割かは田池留吉を思える環境になりました。

僅か十五秒の中に、スポンサーの意向を詰め込んだ内容の原稿がぎつしり。

でも、いつもよりは「お任せする」意識があったと思います。

淡々と収録は進み、予想よりも早い時間で収録は終わりました。

ブースを出ると、クライアントさんたちが沢山聴いていたようで、現場での評判は上々でした。



今月十六日からオンエア予定の、小林製薬「漢方ナイトミン」。

夜、まともに寝られない方の為の漢方の生薬がぎっしりの優しい眠りに導くお薬です。

嫁さんが寝られずに体調が悪くなったこともあり、この仕事の依頼が来た時は、びつくりしました。

人生初、蜂に刺されてしまいました

庭仕事をしていたら、人生初、蜂に刺されてしまいました。蜂が止まっているのに気づかず、しゃがんで挟んでしまったのです。チクツ、ピリピリ。

慌てて家に入り、反転しながら流水で洗ったり、お風呂に置いてある愛のプレート（円盤）を当てたりした後、愛の水素水をしみこませたコットン、氷、愛のハンカチ、さらに愛のプレートを患部に載せて冷やしました。

「どうせ使うなら、愛のグッズ」と軽い気持ちでしたが、必要なものが全部そろっていることに、手当をしながら改めて驚きました。

そして、安静にしている間、「UTAの輪」を読み、蜂に刺されたところに思いを向けながら、瞑想をしました。

いつもより思いが向けやすかったです。その日は特に、なんだか瞑想に集中できないと勉強を後回しにして庭仕事をしただけに（だから蜂に刺された？）、スツと思いを向けることができ、嬉しかったです。様々な愛のグッズは、正しい瞑想の為の物なんだと、改めて確認できました。「治れ^{なほ}」とか念じる隙もなく、スツと瞑想できました。

今まで蜂に刺されたことはなく、比べようはありませんが、勉強の後、腫れも痛みも無くなっていました。あるのは針の跡だけで、蜂に刺されたことを忘れてしまうくらい、その後は何もありませんでした。ネット上には、痛みが引いても猛烈にかゆくなるなど書いてありましたが、そういうことも一切ありませんでした。愛

の力って、すごいなあって驚きました。

しかし、眼精疲労によるまぶたの痙攣は、愛のプレートをあてて、肉体細胞を思う瞑想をしてもなかなか治まらず、三週間続きました。

その違いは何なのか？ 原因（自分か、自然か）の違いによるものか、などと漠然と思っていました。瞑想会での先生の講話を聞いて、「素直さ」だと思いました。愛のエネルギーの感度は、「素直さ」で変わってくる。素直な自然由来のものは、愛のエネルギーを受けて、即、愛に変わるんだなあと思いました。素直になれば、自分のブラックも、即、愛に変えていくことができる。それを自分で確認できるような勉強をしていきたいと思えます。



我が家の犬と愛の円盤

愛の円盤を使って、いろんな実験をして、水が変わる、コーヒーが美味しくなる、お風呂の水が体によくなる、実験して、本当にそうだと実感して、こういうことはたくさんの人達が実験して体験済み。私の中で、それは特別に体験談として書くほどのことではない、他にあるのかな、お腹の調子が悪い時、愛の円盤に触れて田池留吉を思う、ふと気づけば治っている、それはみんなが体験していることなんだろうし、特別に心にぐつと入ってくる体験談は私にはないな、我が家の犬に話しかけたわけではないけれど、いつも一緒にいるので、そんなこと思っていました。

次の日の朝「五日六日」、スマレが朝の散歩に行きたがらない、少し歩いて座ってしまっ

動かない、いつものようにおしっこをしない、ほんの少し出ただけ、元気がなく、凄い食欲を見せるのに食事もしない、その日は様子を見ていました。

水だけはたくさん飲みました。見る見る間にお腹が風船のように膨れて、寝たきりの状態、夜になって自分の足ではトイレにも行けない、立とうとしない、娘の手を借りて二人で抱き抱えて何とかいつものおしっここの場所に連れて行っておしっこをさせました。

ほんの少しだけしか出ませんでした。「明日は病院に行くしかない」と思っていました。水を素水を飲ませて、お腹の下に愛の円盤を置いて寝かせました。

次の朝、お腹は膨れていたけれど、なんとか

いつものおしっこ場所に歩いていきました。そして大量のおしっこをしました。食事も柔らかくしたパンを食べてくれました。水素水は飲みました。夜にはすっかり元氣を取り戻して、今日の朝「五月八日」は何ごともなかったかのようにお腹の脹れもなくなり、いつもの元氣なスマイレに戻っていました。

こんなことがあるのだろうか、愛のエネルギーの凄さが心にぐっと入ってきました。動物達は素直だから、愛のエネルギーがストレートに伝わるんだと実感しました。

愛のエネルギーの働きを形に見せていただいた、とても衝撃的に心に響いてくる体験を我が家の犬から教えてもらいました。



麻酔されたら気分は最高！

——オトボケ母の体験——



今、母が救急センターに居ると連絡受け何事かと駆けつけた。

九十四歳、オ

トボケに足腰弱りベッド生活の

母、弟が歯の治療に連れだした際、一瞬介添えの手が外れ、コンクリート階段に転倒。鈍い音と大出血で緊急搬送になったという次第。

頭部に幅五センチ、深さ五センチ、骨が見える状態と、高齢なので麻酔の危険性その他説明を受ける。「心見なきや」と思うが、次々に救急車が着くセンターのざわつきの中、肉の心配が先にたつ。時間がたち「入院準備必要ですか」

と尋ねたら、「今、治療終わりました。面会と担当医からの説明がありますので……」。そこで入室してみると、数あるコーナーカーテンの一角から手拍子付きの民謡が聞こえてきました。

まさかと思ったら母でした。

「麻酔されたら気分は最高、ハイテンション！」のオトボケぶり。

説明では「かえって出血は良かった。縫合も問題なく、ご覧の通り元気だから帰って結構です」と!! 痛み止めだけで化膿止め無し。一週間後の抜糸まで消毒に一回通院だけ。抜糸あともきれいな、重度の後遺症などもなく、医師も弟もビックリ。信じられない回復力だと……。

私も一緒になって不思議だ!? ……そこでよ

うやく、あっと気がつきました。そういえば母に玉子渡してて、それで常に頭、顔、腕を撫でたり、両手の中でコロコロし（たまにナンマイダー！）でしたが！ 転がって無くさないようにと穴に歯ブラシを差し込み、柄に工夫し、「毎日擦ってんだ」と行く度、聞かされてました。「実践してくれてたその結果だ」と不思議が納得に変わりました。

純水の器機から水を作る音が、ガアガアと鈍い高い音になり故障か!! 接触不良かと器機の周辺、取り敢えず叩いてみても納まらず、以前東京から修理頼んだ時と同じ感じで「参ったなあ」。そうだと半信半疑で円盤を器機の上に載せてみました。

何回目かの作る時に全くいつもの静かな音になっていました。今も静かな音で水を作ってくれています。

これらの事、目の当たりにしても、私自身は相変わらず身体ボロボロ状態！ 愛の道具への向けかたは他力そのものと、怠け癖そのものの現在の結果です。



「愛のカード」を使った体験文

私は、田池先生が述べられている「いくら、素晴らしい文が書くことが出来ても、中身の波動がお粗末なら、お話になりません。」と言われた対象者の代表ですと、はじめは頭で、そして、その後の形としては厳しい、様々な現象を通して、徐々に心で、その中身のことが分かるせて頂きました。

しかし、ちよつと分かつても、すぐに、「己が偉い」がこびりついている私は、ドーンと落ちていききました。そして、また、何とか、自分が自分に「お前、自分で勝手に落ちやがって。」と問いかけてくれては、いくら落ち込んで、また何とか、前向きになろうとしていく私がありません。

今回、私なりに、しっかりと心を見ながら、

決して、整った形の文にしようとはせず、ただ、素直に、愛のカードを使った体験を、三点ほどに分けて、綴らせて頂こうと思います。

（私は、整える文を書いてばかりの、今世の人生でした。）

三月に入り、十二年使ってきたXPのパソコンの保証が、もうすぐ無くなると聞いていました。娘が、「仕事先のお友達が、みんな、スマホだから、私も買ってー」とずっと前から、言っていました。携帯もパソコンも扱っている近くの量販店に行ったら、「スマホセットで、プロバイダー変更、携帯機種変更と一緒にすると、お値打ちですよ」と言われ、「消費税も上がるし……」と、お金に支配されている私は、ウィンドウズ8・1のパソコンとスマホの予約をし

ました。(すぐく混んでいて、パソコンもスマホも、予約制でした)。その後、一挙に、我が家にスマホと新パソコンが来ました。HPとパソコンメールを、欲で見たくて、新プロバイダーの契約書を見ながら、パソコンのセットアップをしていきました。

肉の私は今まで、ウィンドウズ98から、仕事柄、自宅にもマイパソコンが必要でしたから、いつも一人で、ずっと、プロバイダーが変わっても、引越しをしても、セットアップをしてみました。今回も、歳は重ねてはいるが、何とか出来るだろうと、甘い考えで、箱を開けていきました。

ところが、どうしたことでしょう。全く、全く、パソコン設定、プロバイダー設定が、自分で出来ないのです。新しいパソコンは、「む、スタートが無い！」から始まって、何から何まで全く違う、新しいウィンドウズになっていると思えました。ましてや、プロバイダー変更は、もう、

お手上げ状態でした。新プロバイダーに連絡を取っても、四月だからか、電話さえ繋がりませんでした。本を買っても、二進も三進も分らず、何日、肉で、悪戦苦闘した日々が過ぎていつたか分かりませんでした。今現在の私の肉の仕事も、家庭教師以外に、パソコンが無ければ出来ないプリント作りも入っているので、さらに、焦りの思いを募らせていきました。意識の流れのHPとの対面も、常に、出来ない状況は、いかに私が勉強していない、という形が結果として現れたのだ！と、自分で勝手に、どんとんと、落とし込んでいったものでした。

しかし、スカイプ瞑想会だけは、小さなノートパソコンを借り、自宅で、ライブで視聴できました。そうしたら、田池先生は、「愛のカードを使って、いっぺん、何でも、やってみなさい。やらんとダメ……」ばかりが、私に残っていききました。そして、「あ、そうだ。新パソコンも、愛のカードだ！」に繋がらせて頂いたのです。

私なりの瞑想をして、愛のカードで新パソコンにかざしたら、あとは、もう、肉の頭の私では、とても信じられませんが、すいすいと、パソコンのセットアップ、プロバイダーからのHPアップ、メール設定等、立て続けに進んでしまった、という感じでした。インターネットとのセットで、電話も光に変えていく方向でした。「四月は、引越しとあいまって、お宅の工事はとも無理です」と言われていたのが、それも、愛のカードの体験中に、すいすいと工事が終わり、あとは、8・1のパソコンの細かな使い方やスマホは、ゆっくりとやっていこうという環境になっしまいました。私は、HPとメールとワードが、今、使えれば十分でした。

我が家のパソコンさんは、私なりの「愛のカード」の使い方、本当に素直に動いてくれるようになってきました。どんなに偉い私でも、この目に見える結果は、信じざるを得ないと思えました。本当に、形としての結果を体験しないと、

本当は頭のレベルなんて、もうすっかり、衰えているのに、まだ、頭を誇っていた私には、最も、必要なことにならないと、しみじみと思えました。今、愛のカードは、我が家のパソコンさんの前で、私に温かいエールを送って、見つけていてくれるように感じています。

ここで、私は、しっかりと書き記させて頂きたいなあ、と思います。私は、つめこみ主義のやり方で受験戦争に勝者になりたくて、頑張つて、頑張つて、勉強をしました。田池先生が、「腐った文系……。特に、社会の教師は要らない」と以前、ずつと言われ続けておられました。私のことでした。私は、腐った文系の代表者です。そして、今の私の肉の頭は、もうすっかりと、暗記力と理解力等が衰えています。しっかりと、「あんぼん」になりました。この事実を、喜んで、綴らせて頂きます。

パソコン購入やスマホ、そして、他に関わる全ての代金に、お金に支配されている私には、

とりつかれていました。そして、表面は、「そんなことを考えないようにしよう」と、肉で、誤魔化してただけでした。けれど、「愛のカード」が家にある限り、そして、他様々な「愛」のグッズがある限り、私は、瞑想と娘とのオーリング等、やらせて頂く環境にありました。今は、こういう表現しか出来ません。

ある日、突然、日を少しおいて、それぞれ、郵貯から二種類、来ました。まず一つ目は、母の通帳で、相続の内容でした。私は、母が亡くなって直ぐに、年金ストップの連絡をしました。それで、もう、母が「これだけでは足りないけど、どうか、全部使ってくれ」と母のお世話をさせて頂いていたときの母の郵貯は、もう、年金が入ってこないからと、亡くなってからは全く見向きもしなかったのです。はつきりと、今、綴れます。母の郵便局の通帳は、亡くなってから、冷たく外っておいただけでした。

「お母さんが亡くなってすぐに、年金にストッ

プをかけても、その次の年金は振り込まれるのを知らなかったんだね」と、相続課（今は、郵貯に相続課が出来ているそうです）の人が笑ってみえました。

そして、二つ目には、私宛に、郵貯からの残高照会のお知らせでした。私が大学時代に、バイトで貯めたお金で、就職したときに、母に「預かっていて」と渡していた通帳でした。それを、私は、三十五年以上、何故か、すっかりと忘れていました。二つ合わせると、何十万円もありました。母は、私の通帳から引き出そうとすれば、印鑑も渡していたので、当時、引き出すことができませんでしたし、「私なら、あっさり引き出していたに違いない」と思いました。今世の母は、何もさわっていませんでした。涙が、どんどん、何故か、溢れてきていました。

私は、この二種類のお金は、全て、母からのプレゼントだと思いました。「愛のカード」の体験から、外れているかもしれません。けれど、

私は、田池先生が、以前おっしゃっていた「お金は、必要なら、天から落ちてくる」ということも、ワーツと、愛のカードと一緒に買って、学んでください、という形になってくれたと、素直に感じました。お母さん、ありがとう。愛のカードさん、ありがとう。私は、とても、とても、お金持ちでした。

以下は、何ということでもないかもしれませんが。けれど、私には、愛のカードの体験だと思えていることです。

娘には、高校生のときから今の工場労働者になっても、ずっと、ずっと、私が、朝早く起きて、弁当を作っていく日々です。私が、自分のおトイレさえ不自由になったときは、「もう辞めたい」と何度、思ったことか。それでも、作り続けていました。決して、喜んで作っていませんでした。

それが、愛のカードを渡して頂いて、私なりに、愛のカードの上にお弁当を置いて、少しの

瞑想をしたりする日々を重ねていくと、娘が、「お母さん。お弁当、めちやくちや、美味しくなった。今日も、美味しかったよ。ありがとう」と喜んで、夕食のときに言うのです。こここのころ、ずっと、毎日です。おかずも、これといって、以前と変わったものはないのに、です。

今世の私の母は、仕事が忙しく、そして、お弁当作りは苦手な肉を持った方でした。買ってきたお弁当持ちが、ほとんどでした。たまに、作ってくれた母のお弁当は、母を見下していた私は、「あ、なんだ。本当に、見てくれの悪い弁当だ。他の友達は、皆、しゃれたお弁当箱に、しゃれたおかずが入っている。私の母が作ったこんなお弁当、恥ずかしい」と、隠すように、教室で食べていきました。

そんな思いを出した私が、今度は、娘から、正反対の言葉、つまりは、「美味しい、ありがとう」を言われるなんて……。

私は、これからもさらに、愛のカードの上に

娘のお弁当を置いて、「お母さん、ごめんなさい。ごめんなさい。そして、ありがとう。ありがとう」の思いを確認して、いつも、いつも、娘にお弁当を、「はい」と渡してやろうと思います。

ちなみに、余談ですが、お弁当を持つてくるのは、今は、どうやら、娘だけで、あとの社員さんは、皆さん、会社が用意するお弁当で、値段も、半分、会社持ちです。毎日、出勤したときに、タイムカードと一緒に、その日のお弁当希望者欄に○を付けるのだそうですが、娘は、その簿に「愛のカード」を、喜んで付けているそうです。お弁当袋に、愛のカードを入れて出勤しているからです。「愛のカード」を、いつも傍に、の田池先生のお言葉に、本当に、素直に、行動していく娘です。私に、「ありがとう」を言ってくれる娘に、私からも、「今、ありがとう」だけです。



愛の孫の手

20回セミナーでお友達が「毎日、孫の手と握手しながら、「おはよう」と挨拶している」と言っていたので、私もやってみようと思いました。そして孫の手の「愛」の文字を見て手に取っただけなのに、急に嬉しくて嬉しくてたまらなくなりました。

嬉しくて涙が止まりませんでした。

こんなこと初めてだったので自分でもビックリしました。次から次と、ただただ嬉しい思いだけが出てくるのです。そして、おかあさん、おかあさん、と出てくるのです。

自分がこんなに嬉しいと思えたことにビックリしました。グッズはただの品物ではないと本当に思いました。ありがとうございました。



父親に一度「ありがとう」と言われた

①突然鼻水がすごくなり苦しくなった際、かぜ薬も飲みましたが、愛のタオルハンカチを温めて鼻に湿布。——治まりました。

②電池を変えても動かなくなった目覚まし時計、長年愛用していたため捨てられず部屋の片隅に放置していましたが動き出しています。時刻も正確です。

③愛の円盤を入れたお風呂のお湯は保温効果があると思います。

父親に一度「ありがとう」と言われた。



愛のカードからのメッセージ

愛のカードからメッセージがありました。

「あなたの愛は中ですか。外ですか。」

反省ノートに愛の円盤を挟んで持ち歩いている時、円板に名前を書いた方がいいかなと思いました。思っただけでそのまま持ち歩いているうちに、円盤が姿を消してしまいました。

「愛はあなたの中に在ります。その事にあなたが気づけるように私は姿を消しました。」

円盤からの優しい、優しいメッセージでした。

ああ、私は外にばかり思いを向けていた、その事を円盤は教えてくれていた、なんとという優し

さ、嬉しくて、嬉しくて泣けました。何とも言えない優しさでした。

体験談 「夫の涙」

—— WEBセミナーで、0.1秒の世界を体験する実験

夫が、ティッシュを左手で持ち、右手でリング、私が夫のリングを確認、次の瞬間、夫の目から涙が溢れてきて、夫はもちろん、私もびっくり、夫はご飯を食べていて、WEBセミナーは観ていなかったのです、この時、私から出た思い「なんで、夫なん…!?!」お粗末。

—— 円盤を入れたお風呂に入って

その日は、雨が降って、肌寒い日でした、夫が仕事から帰ってきたら寒いやらなあと、お風呂を沸かして愛の円盤を入れて、湯が冷めないように蓋をしていました。

夫は帰ってすぐ「なんや、これ？」と、言いながらも円盤の入ったお風呂に入りました、二階の部屋で娘と居ると夫が「俺、風呂、入つと

たら涙、出てきたぞ…。」と、「ほらなあ！愛のお風呂に入ったからやで。」と、私は、さも勝ち誇ったかのように、偉い思いを出す始末。

夫は、セミナーは三回だけ参加、UTAブツクさんの本も全部読んでいません。

おまけに、瞑想をしている姿を私は見たことがありません。

けれど、水の実験、リングテスト等々は一緒にやってくれます、私がセミナーに行く時は仕事の都合を付け、家で娘を見てくれます。セミナー中継もLIVE映像を観ています。

五月のセミナーで、この話を同室の人にしたとき、その方が「旦那さんと一緒に、学んでい

「るみたい」って言ってくれました。
目が覚める思いでした。

私は「学んでいるのは私」という思い上がり
で、愛からずれていることさえも気づかないで
いました。

セミナーで田池先生が「この十二支の円盤は
死ぬまで……一生使って……」と、おっしゃっ
ておられたことが、思い出されます。



愛のグッズを使った体験

—— 食べ物から愛を感じました

五月のある日、お腹が痛くなりました。愛のハンカチをおなかに当てて、田池留吉を思いながら肉体細胞に向けて「ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」反転と意識を向けました。

今まで出したマイナスのエネルギーがこうして形に出てきているのだと、その時感じられました。今までにも何度かお腹が痛み、その都度田池留吉を思い肉体細胞に向けて反転をしてきました。今回は特に自分が出している心の結果がこうして表れてくれている、心を見るチャンスだと思えました。痛みが長く続いたら大切な用事があるのに、支障が出たら困るなど思っ反転を何度かしました。何度かするうちに、痛みもなくなり、用事をした時間には痛みもなく治りました。愛は流れているのだ、そのエ

ネルギーを信じて反転をしていく事が大切だと思いました。

そのほかには、めったに膝が痛むことはありませんが、膝が痛かった時、愛の紙を痛む個所に当てたり愛のハンカチを当てていたら、数分程度で痛みが消え普通通りになりました。

頭が痛かった時、愛のタオルや愛のハンカチを頭に当てて田池留吉を思い反転をすると、しばらくすると痛みがなくなりました。これは何度も体験したので愛のエネルギーはそうした愛のグッズから流れて肉体細胞に良い結果を与えているということ信じられます。

しかし、そうした良くなる結果だけを求めて反転しても、それは他力につながるのです、どういう心で反転をしているか心を見えています。田

池留吉の愛が流れているということを信じる良い機会として、そうしたことが表れてきたと受け取っています。

また愛のグッズを使っても、私自身がどれほど愛を信じているか、その信によって流れる愛は違ってくる。しっかりと田池留吉（アルバートの意識）の意識を信じ愛に帰りたいと思います。

田池先生と一緒にお食事をしたときに、先生がデザート（果物を愛のグッズ（円盤））の上に乗せて反転しました。私が家でデザートを円盤の上に乗せて反転しないものと反転したものを比べた時には、オリンピックテストは反転しない物より、反転した方が固くなりますが、味については少しはおいしくなる程度でした。でも、先生が反転した物を食べた時、「甘くておいしい」と思い、そのおいしさが際立っていると思います。そしてそれを食べた時に暖かくて優しい波動をその食べ物から感じたのです。田池先生

の愛のエネルギーが食べ物を通して流れて私の中に入ってきたと思いました。おいしくてそして自然治癒力を高める、心にも体にも優しいエネルギーを、こうして食べ物という形を通していただいている、食べ物を単に食べ物として見るのではなく、意識として見られました。そしてそれは田池先生だけができるのでなく、私が反転力を高めれば、家でも愛のエネルギーを今以上に食べ物に注入できるということを示唆してくれているのです。家族においしくて自然治癒力を高めた飲食物を提供できるのです。

反転した水も、水素水も、食べ物も、飲んだり食べたりしていますが、食べ物のおいしさが上がった自然治癒力が上がったりすることは、それらの形のマイナスの情報プラスに変わり、体に良いわけですが、肉体を基準とする心では、本当の愛のやさしさは感じられないと思います。

私たちの生活すべてが愛の中に生かされてい

る、そのエネルギーの愛の大きさを感じられないくらいに、私たちは愛を捨て去っていると思えました。愛のエネルギーである私達が肉体を持つてこうして形の世界でそれを学んでいる。それはとりもなおさず、その愛のエネルギーが存在しているということを信じるために、私達人間は生まれてきたのです。

それを信じるための手助けとして、こうして物質を通して愛のエネルギーの効果^まを間^まのあたりにして感じているのだと思えました。愛のエネルギーは意識だから心で感じられますが、身近なものもすべてが愛だと感じていきたいと思えました。身近なものを反転して愛のエネルギーに変えていきたいと思えました。

私も肉体という形を持っていますが、「あなたは愛です」の通りに、意識として愛に帰りたいと思えました。愛が待っていてくれます。愛が帰ろうと誘ってくれていることがうれいいます。愛に帰ります。



愛の円盤の体験談

一九回セミナーで、宇宙に向けての瞑想がありました。

その後から、目がぐるぐる回って、フラフラしました。

お部屋に帰っても、苦しくて、夕飯は少ししか食べられませんでした。

お風呂も行けず、その夜は円盤を胸において、母の反省をしたり、

田池留吉に向けたり、少し眠れました。

朝起きると、目が回るの治まって、お風呂に入ることができました。

三日目のセミナーが始まって、嬉しいことに香世さんのチャネリングを受けるチャンスがありました。

本当は嬉しいチャネリングのはずが、何も心に響いてこなかった。

悲しかったです。

なぜ、響いてこなかったのかと思いました。

必死に思いました。

「ああ、昨日の宇宙に向けた時の苦しさが恐怖となって、心を閉ざしました」と出てきました。

ずっと、宇宙は恐怖でした。とてもとても怖かったのです。

小さな時から怖かったです。はつきりと覚えていません。

心を閉ざしたら、何も感じなくなる。恐怖も何も……。

心のお勉強、それができなくなる方が本当は

恐怖なのに、心を閉ざしてしまった。

セミナーが終わって帰宅してから、苦しいままでした。

重くて重くて、心だけじゃなく身体も重かったです。

毎日いつもいつも、先生のホームページを見つめながら、自分に語りかけました。

どれほど恐怖でも、必ず受け入れますから、一緒に宇宙に向いていこうね、必ず受け入れるからね。

それを、自分の心に語り続けました。

しかし、苦しかったです。

次のセミナーが近づいてくると、風邪をひいたのか、咳が出て私の中の抵抗勢力がぐぐぐと出てきて、「セミナーに行かせないぞ」と、苦しみます。

今回の二〇回セミナーに行けました。

しかし、仲間の体験談を読んでも、いいなあ、私にはこんな経験無理やなあと思いました。

家では、円盤に何でも載せたり、胸に当てたり、お風呂に入れても、何も感じなかったのです。

「肉にしつかり向いているし」と、諦めムードでした。

でも、今回のセミナーは嬉しかったです。

どんどん嬉しさと、苦しさが湧いて出てきて、セミナー会場では強く強く、闇が出てきました。嬉しかったです。

そして、帰宅してから買ったばかりの水素風呂に入りました。

洗面器に水素のお湯を入れて、顔を漬けました。

グオツと恐怖が出てきました。

お湯は温まるような、でも、まあ体に良いしと思いつながら、でも、何かお薬臭いなあと思っ

て、そうだ、円盤忘れてた。

円盤をお湯に入れました。

少し、匂いがまし。

もう一度、田池留吉思って入れました。

匂いがしないです。

何度も何度も鼻をクンクンさせて嗅ぎました。

臭くないです。

嬉しかったです。

全然効果が無かった円盤が、いきなり凄くなりました。

嬉しくて、円盤を持てば、涙が溢れて「田池

留吉信じていきます」と出てきました。

ありがとうございます。



「愛」のグッズ実験

一月二十五日、家の水道水をまろやかでおいしい水道水に変える実験の時、蛇口に手を近付けた瞬間、水の味の違いを確かめる間もなく、どっと胸に感じるものがあり、その場に伏せて泣いてしまいました。一時経って、蛇口の水を飲んだ時、カルキの臭さは消えていました。

「誰がこんな事できるだろう。世界の、誰も誰も、鉄のサッチャー元首相も、故ケネディーも、安倍首相も、今まで、瞬時にして水の味を変えた人はいない。今、今、その出来事が起きているのだ」と、私の心はそんな思いで一杯になりました。

水の実験が始まり、まず最初は、純水に、生

体水とセラミックの棒で作った美味しい水をお風呂に少し入れ、反転をして、入浴を楽しんでいました。これはこれで、あのお風呂独特の、一番風呂は体に良くないから……と昔から言われている最初の硬い水が、とろっとした状態になり、私は満足を感じていました。

その次、*孫の手* が手元に來てから、美味しい水を湯船に少し注ぎ、孫の手を三回軽く軽く混ぜて入りました。今度は皮膚がしつとりとした感じがあり、顕著に変化を感じ、これもまた楽しんでいました。

次に、*愛の円盤* が來ました。*孫の手* から円盤に変え、美味しい水を少し注ぎ、軽く搔

き混ぜました。肌のつるつる、しっとりには、温もりが加わりました、汗ばむ時間が速くなったと、独り善がりかもしれませんが、楽しんで使っています。

今回新しく、お風呂に入れ作る『愛の水素浴』と、『十二支カード』が加わりました、干支の猪を観ながら、「可愛いじゃないの」と、独り言を言いながら、お風呂の水をアップアップさせて、楽しい時間を過ごしています。

今、私の手元には沢山のグッズがあります。田池先生は、「私は物として見ていません。すべて意識です、愛です。」と言われます。物として捉える時は物としか見れない。意識として心に捉える時、私の心に喜びの波動として響いてくるもののだと感じています。グッズの奥の、元を思える自分自身にアップしていききたいと思っています。



今日は驚きと不思議の連続

五月のUTA会から帰ったら長男が待ち構えていました。セミナーに行った日から三十九度の高熱が医者から処方してもらった薬を飲んでも下がらず救急病院に連れて行ってほしいとのことでした。

咽^{のど}が痛くて白血球が三倍くらいあって解熱剤も効かずふらふらになっていました。

調べていった指定の病院は診療が終わって他のところに行こうとしたところ汗が出てきて少し楽になったというので帰宅しました。私はようやく講話で先生のおっしゃっていたことを思い出し愛の水素水を作り愛のミニタオルを水素水で濡らして湿布しながら水素水を飲ませました。

その晩は汗がいっぱい出て熱が下がりがかなり

良くなり夕方には三十八度ほど出ましたがまた愛の水素水を飲ませました。翌日には完全に治ったそうです。

今日（五月十五日）はもう驚きと不思議の連続でした。

昼食を食べていたら急に左手がしびれ出しました。どうしたのかな？と思いつながら食べ続けました。今度は右手までしびれてきました。

食べるのをやめて愛の円盤を持ってきて田池留吉を思つて両手で挟んで肉體細胞を思いあげがとう、ごめんさい、ありがとうと心の中で言いました。

しばらくすると何でもなかったようにしびれは無くなりました。

夕方、四十年前から動かなくなっていた腕時

計のことを思い出し出してきました。

これは四十五年ほど前に拾ったものです。オメガの時計だったのですがついついねこばをして今まで持っていたものですが数年したらりゅうずを巻いても全然動かなくなっていました。愛の円盤でサンドイッチして夕飯の支度をしていました。しばらくして見てみるとなんと動いているではありませんか！

耳元に持つていくと軽やかにコチコチなっています。もう本当にびつくりしました。「あっ！本当に動いている！」と声を出していました。

そして同時に涙が出てきました。私は何も信じていなかった。愛のエネルギーを小さく小さく捉えていました。今までも何度も不思議な体験をさせていただきながら私は素直でなかったと思います。パソコンルームの時計も故障していたので愛の円盤の上に置いてみましたらこれも当然のように動きだしました。

一年ほど前にU T A ブックさんで購入してす

ぐ壊れた磁場と反転のSDカードを入れて聞くリスニング機器も復活しました。

セミナーから帰ってきてほんの二三日の間にたくさんのことを体験させていただきました。

田池留吉に心に向けて、少しずつですが信を深めて“意識の転回”につなげていきたいと思っています。

ありがとうございました。

愛の体験談——ケータイが教えてくれたこと

ケータイが突然通話出来なくなった。原因に心当たりはない……

修理？ 買い替え？ 手間、出費……肉の自分に不利益な事象が起きたと、頭を回すばかり。

電源を一旦OFFにしたところで、愛の円盤を使う事、ケータイに思いを向ける事に気がつく。

愛の円盤の上に置いたケータイに思いを向けると、胸の苦しさを感じた。ケータイには愛のストラップ、愛の待ち受け画面。今まで頂いた愛のグッズも、全て「あわよくば」何か得する事が外からやってくるかも、と他力・欲の思いで傍に置いていた。ケータイという物体に思いを向けた事など、これまで一度もなかった。

この冷たい私の思いを、胸の苦しさを気付か

せてくれた肉体細胞。

胸の苦しさも徐々に薄らぎ、電源をONにする通話出来るようになった。

これまで水道水等の実験では今一違いも分かんず楽しさも感じられなかったが、これは本当に驚き、嬉しかった。

目に見えないエネルギー、思いの世界を信じてこなかった。

身の回りで起きている事は、愛に気付かせてくれるという事なのだと思えた。

愛の円盤を使つての体験談

引越しのお手伝いをしてから四、五日経つと、左の臀部に痛みの様なしびれの症状が出てきました。

少々重たい家具等を運んだりしたので、腰に負担をかけたのかもしれませんが。これは愛の道具を使うチャンスだと思い、目の前に愛の円盤を置き自分の肉体細胞に思いを向けてみました。

肉体細胞に思いを向けると「あなたは愛です、あなたは愛です」と伝えてくれました。

自分はそんな肉体細胞の思いを聞くこともなく、お母さんから頂いた肉体全てに支配のエネルギーを流してきました。

ただただ自分が愛に目覚めてくれるように伝えてくれていた、自分の協力者の肉体細胞にさえも支配のエネルギーで牛耳ろうとしてきました。

母親に対しても同じエネルギーを使ってきました。「ごめんなさい、ありがとう」、これまで自分の肉体細胞にそのような思いを向ける事はありませんでした。本当に申し訳なかつたです。

肉体細胞に思いを向けて、最後に愛の円盤を痛みのある臀部に当ててからその日は就寝しました。翌日、起きると、臀部の痛みや痺れは殆ど無くなつていました。坐骨神経痛は構造的に腰部の神経が圧迫されて起こる症状なのに、構造的な処置をしなくても痛みがたった一晩で消えた事に驚きました。物理的、化学的、構造的には説明できない体験をさせていただきました。

ありがとうございます。愛の円盤は頭では絶対に解らないエネルギーだと、体験させてもらっています。

『愛のプレートはやっぱり凄かった』

セミナーの翌日、会社に行ったときの愛のプレートを使った体験談を送らせていただきます。

会社の休憩室に蘭の鉢が置いてあります。この蘭は会社が昨年末に引越した時にもらったお祝いの蘭を株分けしたもので、花はなく、根っここと緑の葉っぱだけが鉢に植わっている状態でした。

蘭は窓際の直射日光の当たるところに置かれていて少し枯れかけていました。私がかから持ってきている愛の純水を時々お裾分けしていたのですが、セミナーの前に休憩室の掃除当番だったので、ついでに蘭に愛の純水をあげ、愛のプレートでちゃんと触れておきました。

そしたら、です。セミナーの翌日、会社に行ったら蘭が見違えるように元気になっていまし

た。葉が青々と茂り、なんと蕾もできていました！ 蘭は手入れが難しく、直射日光下に置いて、しかも蕾をつけるなんて考えられない植物です。現に会社の友達が自分の席で育てている蘭は蕾もつけておらず、あまりイキイキしていない状態でした。

この現象にはその友達も本当にビックリして、この蘭を見ていると何か勇気をもらえると说着ていました。私も驚きと嬉しさで一杯になり、すごいを連発してしまいました。愛のエネルギーの凄さをまじまじと感じさせてもらいました。愛のプレートの力は本当に凄かったです。

思うことはすげーこと

愛のカードができた当初は、愛の文字を部屋中に飾ることが、何かお札ふだのように思えて、すごく嫌でした。しかし、カードを使うにつれ、やはりエネルギーが働いていると思えてきました。今は、愛の円盤を冷蔵庫にあて愛の冷蔵庫にすると、野菜のもちがよいし、愛の円盤を入れたお風呂は、お湯が柔らかくなって身体がよく温まるし、愛の炊飯器で炊いたご飯は美味しい。愛の水道水をあげた植物たちはイキイキしています。愛のエネルギーはすごいな。不思議だ。すごいなと思います。

ある日、水素水を作っているとき、いつもの手順で機械的に愛の円盤の上に乗せて作っていました。すると、なかなか水素が発生しませんでした。出来上がりも少し苦味があるように思えま

した。円盤の上に置いたのに、なぜだろう。そう考えていたら、思うことをしていないことに気付きました。その時、「愛に反転したものは、その効果が長続きしない」と田池先生が講話で、言っていたことを思い出しました。その時は、なぜだろう……で終わってしまった。けれど、それは、思うことをしなくなってしまうからではないか。そんなことを考えながら、次の日タイケトメキチと思ってから、水素水を作りました。すると、ボコボコと水素がよく発生するし、飲むと甘くて美味しい。不思議でした。思うことは大切だ。この愛の文字はお札ではなかった。思いを向けさせてくれる私の協力者だった。やっとそう思えるようになりました。

日々生活をしていると、心が動くことがたく

さんあります。前までの私は、そのエネルギーに振り回らせて苦しい、つらい、悲しいと嘆くことしかできなかったけれど、今は、そんな現象に直面したとき、ふっと瞑想をすると、前と同じように、苦しくて辛くてどうしようもない自分を感じるけれど、それだけ真実が知りたかったと自分が叫んでいるような気がして、うれしい自分も感じられるようになりました。この前よりも、握る心が小さくなったかな。これが絶対評価かな。こうやって、ふり幅を小さくしていけたらいいなと思います。これからも、思うことを大切にしていきます。



愛の円盤を使っていたいくつかの体験

お風呂の浴槽に入れて田池留吉を思っています。そのあとに肉体細胞も思うようにしています。お湯にとろみが出て、ものすごくよく温まります。お風呂上がりも体がぼかぼかとしています。

ある朝起きると、腰から足先までの骨の節々が痛くて仕方がありませんでした。朝のお勉強の最後に、愛の円盤に手を置き田池留吉を思ってから、肉体細胞の痛みのある箇所心に心を向けました。普段は「早く良くなれ。自分の思うようになれ。」という思いが先行して、なかなか、という感じが多いのですが、この日は少し違っていました。「いつも私は肉体細胞さんに本当に冷たかったね。ごめんね」という思いが自然

と湧き出てきて、ただただ「ありがとう。ごめんね。ありがとう。」と肉体細胞を思うことができました。そして、本当に自分でも驚いたのですが、スーツと痛みが引いていったのです。嬉しい出来事でした。

甥が三九度の熱を出しました。両親二人がどうしても仕事を休めない日だったので、私がみていました。愛の円盤の上に、水素水を含ませた愛のハンドタオルを置いて、田池留吉を思いました。それを甥のおでこにあててあげました。おでこにあてたまま、また田池留吉を思う。それを間隔をあけて五く六回ほどやりました。翌日、すっかり熱がひいて甥は元気に学校へ行っただけです。

家にいる猫二匹に愛の水素水をいつも飲ませています。二匹とも毛並みにツヤが出てとてもきれいです。

うち一匹の猫（スズ）はアレルギーがあり、時々目がとても痒いようで、掻きすぎて目の角膜を傷つけてしまいます。最近は落ち着いていますが、今までの名残で左目が白く霞んでいました。愛の水素水を目薬にして、母と協力しながら点眼を二ヶ月くらい続けています。まだ僅かに残っていますが、明らかに以前より目がクリアになってきています。本当にすごいです。子供も動物も素直だと思いました。

スズはいつも自分の体を通して私に間違っていると伝えてくれています。今、症状は落ち着いていますが、まだアレルギーは完治してはいません。いつか辛い痒みから開放してあげたい



です。私が本当に変わらなくてはそれは実現しないのだと思います。スズの思い、優しさを無駄にしたいくないです。目の前に課題がたくさんあります。鈍感な私ですが、愛を思う瞑想を続けていきます。

お顔の。パック

愛の水素水と

愛の円盤を使い実施しました。

市販のフェイスマスクを

愛の円盤に置いてから

愛の水素水にたっぷり浸し

顔のパックをします。

三分くらいで十分です。

肌がしっとりキメ細かく、

吹き出物が早くなおりました。

愛の円盤―姉と実験、孫と実験

姉と実験

まずコーヒ―、苦みがまろやかに。

リングテスト。お菓子で実験を今までに何度か試みてきましたが、姉の指は固くはならなかったのですが、今回初めて、しっかりと固くなりました。

私も驚きましたが、姉本人がびっくり。

右腕を回すと痛いというので、円盤を持ってグルグルと回したらいたくないという。

「なんでや、不思議や、私も円盤欲しい」と言っ
た。

孫と実験

片手に好きなパンを持って実験。軽く開く。円盤に置いてからもう一度やると少しは開くけれど、戻ってくる、その感覚を感じたみたいで喜んでいた。

水の実験

水素水みたいにまろやかだと。

味の違いがわかるのかとたずねたら、「トロンとしている」と答えてくれました。

「実験、面白い」と喜んでくれました

こうやって楽しんでいけば、本当になごやかなうれしさに包まれていた。

みんな、おだやかな、やわらかな顔、みせて
くれました。

こういうことだったのですね。

何にもかたぐるしく考えなくても、楽しんで
実践していけばいいことに気付かせてもらいま
した。



愛の体験談 — 誰もが知っているあの思いだったんです

今まで、お風呂に入ると背中が痒くて我慢できずに掻きむしっていました。

三月のセミナーの後から、愛の円盤をお風呂に入れるようになり、全く痒みが無くなっていました。

痒くないので忘れていました。

二週間ぐらいたって、そういえば、痒みがないと気が付きました。

お腹が痛くなつて、愛の円盤をお腹に当ててみました。

変化がありませんでした。当てただけではダメかな? と思い、お腹に当てながら痛い部分に思いを向け、まず「タイケトメキチ」を思い、「ありがとう。ごめんなさい。ありがとう」と思った。

今まで痛かったところが、フワツとして優しくなった。

うれしいと思う反面、「こんなもの使うか、信じるもんか……」と反対の思いも出て、自分にごまかせない。そう思いました。

「お母さんのおなかの中と同じだなあ」と、思いました。

『その人、田池留吉Ⅱ — 田池留吉の世界 自然治癒力』の中の誰もがみんな知っているあの思いだったんです。

あの思い……、あの思いです。

「これの事だったんだなあ」と、実感しました。

五月のセミナーの帰りの新幹線の中で、目がすごく疲れていたので愛のタオルを目に当て、「ありがとう。ごめんなさい。ありがとう」と思った。

一瞬で目の奥がスキツとして驚きました。

すごいと思ったら、あれこれと実験したくなり、洗濯機の匂いが気になったので、蓋を閉めて愛の円盤を置いて、もう一度、開けてみました。

匂いが無くなりました。

お風呂は、私が入るときに円盤を持って入るので、先に入る母の時にはまだ入れていませんでした。

母が入る時に円盤を入れるようにしたところ、次の朝から足のむくみに変化が出てきました。

お風呂の蛇口、シャワー、植木の水、食べ物体の痛み、いろいろと実験しました。伝わってくるものは、みんな同じ、どれも優しかったです。

やっっているうちに、愛の文字が笑っている、喜んでいると、見る度に思うようになりました。

今まで、ずっと固く心に蓋をしてきました。緩めてしまったら中から何がとびだしてくるのか恐怖でしたが、喜びに向けて溜めてきた思い、エネルギーを開放したい……そんな思いに変わってきています。

愛の体験談 ― 「学びの動機」について

他力一色で肉一辺倒の私でしたから、私の体験談など誰の参考にもならないだろうと思っていました。ですが、最近になってようやく、私の学び方が全部肉でしかなかったことに、はつきりと気付く機会がありました。それからは、愛の円盤に対する思いもどこか変わってきているように感じていた矢先、今朝の体験を送りたいと思えました。

十二支の愛の円盤をいただいてからは、会社を持って行く鞆に自分の干支である「酉」を一枚。そして食卓にはいつも五、六枚の円盤が置かれていて、お水やらパンやらを円盤の上に乗せてからいただくようにしています。

私の家では、毎朝、家内が必ずグリーンスムージーという野菜と果物のミックスジュースを作ってくれるので、スムージーの入った容器を乗せるために円盤を手に取り、「これは何の干支かな？」とひっくり返したら田池先生の写真の円盤でした。

その瞬間、「あつ、田池留吉の愛の円盤だ！」と思った瞬間、突然ものすごく嬉しい思いが広がったのです。「ああ！この思いがあるから学んできた！学びを続けてきたんだ！」と、最近の自分のテーマだった「学びの動機」について、その理由を思い出すことができたのでした。

欲で円盤を使っているときは全く分からない

かつたけれど、肉でほとんど何も考えていないときに「田池留吉」にぱっと思いが向いたとき、中からあふれる思いが出てきてくれたことが本当に嬉しかった。

「ただただ嬉しい」この体験があるからこそ、これからも私は決してこの学びから離れることはないんだと、他力満載の中でこそ、学び続けていくことができるエネルギーが、愛が、あふれ出すようにあるんだと、そう思っています。

愛の円盤をこれからもずっと肌身離さず、ずっとずっと使い続けていきたいと思えました。そのことを思うとまた、さらに喜びが広がっていくのを感じていました。本当にありがとうございました。



愛の円盤を使つての体験

数日前、出先から帰宅後、急ぎ夕食の支度を済ませ、盛り付けたおかずのお皿やお鉢を愛の円盤に一つずつ載せていった時、急に温かい、やさしい思いが食卓一杯に広がり、思わず涙が溢れてきました。

気づいたら円盤を抱きしめて、有難うの思いで泣いていました。

今までに愛のグッズを沢山いただいたには手にして使つていたものの、私は愛を思つて使つていなかった、単に物として見ていた。或いはお守りの域を越えていなかった事を痛感しました。

日々生活する中で、本当の自分、愛を思つて生きる事の大切さ、そして何よりそのうれしさ、楽しさを教えていただきました。

ありがとうございます。
うれしかったです。



愛のグッズ、つくづく不思議です

草書体の愛のグッズ、つくづく不思議で、すごいグッズだなあと思います。

1、実家の母と料理中に、沸騰しているお鍋に指をくつつけてしまい、あつと思つた瞬間、指はずきずきと痛み、「プクツ」と腫れだした。これまでならすぐに水につけていたが、そうだ！と思ひ、近くにあつた愛のプレートで田池留吉を思いながら、その親指の腫れた部分を当てていると、ズキンズキンと痛んでいた痛みもすぐに収まり、腫れもひいていた。今晚はシャンプーは無理だろうなと思つていたのに、全く支障なく普通にシャンプーできてびっくりした。側にいた母も、「へへ不思議ね〜」とびっくりしていた。

2、愛のプレートをお風呂に入れると、とてもよく温まり、短い時間で汗がでてくる。そしてその時間は湯船の中でストレッチをしたり、肉體細胞に思いを向けて、「ありがとっ、ごめんなさい、ありがとっ」と思う。お風呂の中でのおんびりゆつたりリラックスする。

3、風邪をひいて気管支が弱いので、ずっと咳がとまらなくなったりする。愛のタオルを愛の水素水に浸して、のどにあてて一晩ねると、全く咳がでることもなく、翌日はのどもすつきりとしていた。

4、買ってきて二、三日そのまま放置して、萎しお

れて枯れかけてきた花の苗を、もうだめかなあと半分あきらめつつ、愛の水素水をかけて、「ありがとう、ごめんね、ありがとう」と思いながら水やりをした。三〇分後に見てみると、枯れかかっていた花の苗がしゃっきとして、すっかり元気に復活していた。思わず、ありがとう、ごめんねって涙がでてきた。

5、お風呂に入りなさいと言って、なかなか動こうとしない子供に、ああ思い通りに動かしたいと思ってるなあと思いつながら、ふと愛のプレートに手をおき、そのことを思うと、その思いがとても嬉しく思えて、びっくりした。一瞬、険悪に感じた子供との空気が、ママの格好面白いな、はははといつて子供は笑って、自分の用事を済ませてお風呂に入っていた。

そして、何より、私は正直いって、この文字

を見るのが怖い、嫌だと思っ時期がありました、けれど、今は何だか嬉しくなってくるし、いいいなあ、ありがとう、ずつとずつとずつと一緒になりたいなあ、心が大きくなって、ああ全てを受け入れていきたいなあ、どんな思いもどんな私もありがとうって、ああともにもに存在していこうねって、そう思う思いが芽生えてきました。そのことがとても嬉しいです。

天ぷらで大火傷

① 家業で、ある展示会のとき、天ぷらをしてお客様に差し上げようと、フキノトウを山盛り揚げた。何か珍しいものかと思いい、大失敗、右手に大火傷を負ってしまった。右手が真っ赤に腫れ上がり、かなりひどい。夫や家族が「病院に行った方がいい」という。

でも、私の中では「大丈夫、自然治癒力があるから」と、「タイケトメキチ、磁場反転、肉體細胞ごめん、ありがとう」と、ひたすら愛の水道水を流し続けること三十分。
水素水、馬油を塗り、「ありがとう、タイケトメキチありがとう……」
不思議でした。痛みがまったくなく、ピ

リピリ感もない。

これが愛のエネルギーだ、愛のエネルギーが仕事をしてくれた。何もいらぬ、何もいらぬ、肉體細胞は愛のエネルギーでした。自然治癒力は愛のエネルギーでした。肉體細胞が教えてくれた……
二週間足らずで完治しました。

② 愛の水素水を飲んで一ヶ月半位して、長い間、胸やけで困っていたのですが、治りました。

③ 愛のタオル、愛のハンカチで血圧の実験中です。かなり下がりました。

④ 愛の円盤に食卓に並ぶものすべて載せて、お



いしくいただいております。特に今年は我が家でとれた金冠きんかんがすごくおいしかった（今までは、おいしいと思わなかったから、二十年近くなるのにほとんど食べなかった）。
学びの友と、共に味わいました。

いつもおいしくいただいているコーヒーが今日はまずい。

「そうか、載せられると、こんなにも味が違うのか」と、愛の円盤のすごさにビックリ、再認識しました。

早速始めた水素浴

待ちに待った水素浴セットが届きました。説明文をしっかりと頭に入れ、夜、実験開始。

以前から使用していたトルマリンはそのままにすることにします。

勿論、愛の円盤、水素浴セット……換気扇を回す。学びの友から送られてきた日向みかん一個、愛のたまご……。

腰のほうに置いた水素発生器から勢いよくゴボゴボと水素発生。

一気にお風呂の中が喜びの水素温泉に変貌……うれしい、うれしい。

ありがとう、ありがとう……

しばらく半身浴をし、次はシャンプーと全身洗浄。

今回は水道水は無し。頭からお風呂のお湯を

かぶり、EM石鹼でシャンプー、愛のたまごで頭皮マッサージ、その泡を全身に下げて卵で全身マッサージ、仕上げにへちまで軽くマッサージ。後は頭から足の先まで水素のお湯をかぶり良く洗い流し、ツルツルになった体を浴槽に沈める（何て気持ちがいいんだろ）。うれしい、ありがとう……。

湯上りにオイルを二、三滴頭から足先まで塗り出来上がり……完了。

肉体細胞にありがとう、ごめんなさい、ありがとう……。何度も何度も感謝していました。田池留吉の磁場のなかで愛に変えていく備えがされ、その一つ一つを喜んで受け入れていく、大事な学びの分岐点を肉体細胞にも力を頂きながら、意識の流れにのり、意識の転回をはかつ



で行きたい……。

明確になってきました。

今朝も喜びの水素浴、瞑想。しばらくぶりに

体験談のキーボードを打つ。

うれしい体験。早速、夫も朝湯で喜びの半身

浴。明日は愛犬エルと黒猫クロちゃんにもうれ

しい水素浴を味わってもらおうと楽しみにして

います。ありがとう、ごめんなさい、ありがとう。

愛のエネルギーの体験

二年前、四月に夫が大腿骨骨折で入院、手術をして、十二月に私の母が亡くなりました。

二十五年（昨年）一月に、娘が入院、五月に息子の入院とあわただしい時を過ごしました。

振り返ると、私の強いマイナスのエネルギーを家族が見せてくれたのです。

学びを始めて約十年になりますが、肉の日々、心を見るようにと言われても、なかなか思うように進んでいかないと思っていました。愛のグッズを色々使って体験を始めました。

今年の一月に新車を購入しました。車内には愛のラミネートを置き、「故郷」のCDを聴けるようにしました。今まで乗っていた車は、毎月毎月ガソリンを入れていましたが、今度の車は、以前の車と走行距離は変わりませんが、

一ヶ月半以上、入れずに動くのです。

初めて顔の上部にかゆみと腫れが治らずにこまっていたところ、夜、寝る前に水素水をハンカチに濡らし、愛の円盤に心に向けて、三日間、当てました。四日目にかゆみ、腫れがとれて、同時に顎関節症も治っていました。

※顎関節症^{がく}＝あごが鳴る、口が大きく開かない、あごが痛むなどの症状が特徴の女性に多い病。

四月にイチゴを買いましたが、甘みが少し無いと思ひ、愛の円盤に置いて反転すると、ほんとうに甘いイチゴに変わっていました。

毎日、食事の時、円盤に置いて食べると、おいしく変わります。日々の食事の支度を楽しんで



でするようになりました。

愛のエネルギーのすごさに日々感動し、自分の心の針を田池留吉に向けるグズ、ぶれないように信じていけばいいと確信しました。

意識の転回がなかなか難しいと思っていますが、田池留吉に思いを向け、本当の愛に目覚めるように邁進まいしんします。

今世の出会い、ほんとうにありがとうございます
ました。

愛の円盤体験談——ぬくもりが呼び起こす「自己治癒能力」

ぬくもり、愛はここにありました。私は少しずつ、少しずつ気付いてきました。

愛の円盤、たまごが、私に「愛」を感じさせてくれました。

ぬくもり、愛が「自己治癒能力」を呼び起こし、私の愛に包まれた喜び、感動を綴りたいと思います。

愛の波動が現象となって私に現れたのは、第二〇回セミナーの二週間ほど前の頃だったのでしょうか。

私の両手首に湿疹、水泡が急に現れたのです。初めてのことです。不思議なことに、手首だけに多数の水泡ができ、痒みもあり、痛々しい状

態になったのです。

学びを始めてから書籍や学びの友を通じて、肉体細胞がシグナルを送ることがあるとの知識はありましたが、その時は考えも及びませんでした。

水泡がますます増えてくる症状に驚き、病院に行こうと思った頃でしょうか。私をこの学びに導いてくれた方、今では学びの友となっている方なのですが、その方に偶然にお会いしたのです。その時、私の手首の湿疹、水泡の話題になり、私が病院に行こうと思っていると伝えると、「毎日、愛の円盤を枕の下に置いて寝てごらん。そして、たまごで身体をゆっくり摩さすりながら、肉体細胞さん、ありがとう、ごめんなきい、ありがとう、と意識を向けてやってごらん」

と助言をいただいたのです。さらに、「肉体細胞が何か伝えたいのかもしれない。ご自分のところを観てください」と私を促して下さいました。

これまでも朝晩の瞑想でたまごを使って、肉体細胞に意識を向けていたのですが、この日から導かれるように愛の円盤を使い始めたのです。今感じるのは、愛、意識に導かれていったような気がします。

水泡ができたその頃、私がこれまでやってきた政治という世界から身を引き、今後の方向性、基盤体制をどこで整えるのかなど、もがいて、もがいて、苦しんでいた時でもありました。

まさか、このことを私に気付かせるために湿疹、水泡が現れたのでしょうか。

自分のことを省かえりみることもなく、冷たい私だったのだと思えたのです。

それからです。自分の心を見始め、そして、愛の円盤とたまごを使って意識向けを続けました。自分から出てくる想いを認め、その想いをぬくもりで包みこんでいきました。自分で自分をぬくもりで、愛で包んだのだと思います。肉体細胞にも意識を向け、語り掛けていきました。「ありがとう。ごめんなさい。ありがとう」と。すると、少しずつではありましたが、水泡の状態が改善されてきたのです。

驚きでした……でも、半信半疑の自分もいました。何故なら、ネットで調べたところ、水泡の完治には長期間、二年ほどかかるとあったからです。それが、薬に頼ることもなく、改善されていったのです。

そしてセミナーを迎えました。田池先生から肉体細胞のお話がありました。その頃には水泡も大分、良くなっていました。これがまさに、ぬくもりによって呼び起こされた「自己治癒力」

の働きによるものだったのではないのでしょうか。そう、私は感じるのです。

肉体細胞は湿疹、水泡という症状で私にシグナルを送り、叫び訴え続けてくれていました。気付いた私は、自分を、周囲を省み、ぬくもりで全身を包みこんでいったのです。自己治癒力はぬくもりが、愛があつてこそ、はじめて動き出すのでしょうか。そう、私は感じます。

これを機会に、自分の基盤整備のために、一度、地元に戻ろうと決意できました。

基盤整備とは、学びを中心にした生活環境作りです。

一年ぶりに両親亡き実家に着くと、父が育てていた薔薇が目に飛び込んできました。薔薇の周囲にはどこことなく温かなぬくもりが感じられ、薔薇が微笑んで、「お帰り。やっと帰って

きたね。待っていたよ」と語りかけてくれたように思えました。父が待っていてくれたのではないのでしょうか。

私が政治の世界に足を踏み入れたのは、父の紹介が発端でした。父は、私を政治の世界に向けさせたことへの責任を感じていたのかもしれませんが。父が育てていた薔薇は、父から受けていた愛を返すために、父が亡くなってからも咲き続けてくれたのです。

肉体細胞は、父の意識を、愛を、私に湿疹や不眠という症状で知らせようとしていたのです。

私たちの学びは、意識、愛、内なるタイケトメキチを感じることにあります。

しかし、脳で理解していても、意識で、ここで感じていることとの違いが、なかなか気付けなかった私がありました。

感じていないのに感じている、あるいは逆に、感じているのに感じていないと錯覚すら起こす

のです。

でも、愛の円盤から愛が溢れ出し、ぬくもりで呼び起こされた「自然治癒能力」を体感した私は、意識、愛、内なるタイケトメキチをはつきりと感じることができました。

ぬくもりが、愛が、私たちの自己治癒力を目覚めさせます。

肉体細胞は、私たちに語り掛けているのです。

だって、私は愛

あなたも愛

すべては愛

わたしはあなた

あなたはわたし

すべてはひとつだから……。



愛の孫の手と握手してごらん

意識の流れのHPの「愛の孫の手と握手してごらん。驚きと癒しを」という項目を実験してみました。素直に握っただけでしたが、心からわーっという思いがわいて目を閉じれば、心が広がっていく感覚です。わあ〜っと言ったきり言葉が出なくなりました。なんと表現していいのか、頭は機能を麻痺し、ただただ何とも言えないいい気持ちで「お母さん」という叫び声だけがします。右手を左手に持ち替えても同じでした。

翌日、体験談を書こうと思い「愛の孫の手と握手してごらん。驚きと癒しを」と自分で記入した文字をパッと見た途端、またまた同じような気持ちになりました。孫の手と握手、もう何とも言えない思いで、お母さんを連呼していま

した。何度やってもジンジンと何とも言えない思いが、手に伝わってきます。今もやってみても同じようにジンジンきます。信じてやってみてよかったですと思いました。

生臭い臭においが苦手で、料理に使うときもその生臭さが気になっていましたが、試しに、煮魚削り節等で出した出汁だしを使用した煮物に愛の円盤を上から当ててみたら、その臭いが気にならなくなりました。プンプン臭わないのです。煮魚は食欲をそそる匂いに変化していました。

信じてやっていけば信じていけるように結果は付いてくる。そのことを実感、思う、向ける、実践、そのことで結果を実感できることを通して、自分を信じていく方向に導いていることを、

また信じていけることを実証していく。そうできることが本当は当たり前のことだったのだと思うと、今ある時間がどれほど大切な時間であるのか、これから自分が……と繋がっていきま
す。これからも愛のグッズと、思うということ
を大切にしていきます。



愛の実験

その1 コーヒー

- ① 紙コップ2個を用意し、一つの底に印を付ける。
- ② ドリップコーヒーを淹れる。
- ③ 均等に紙コップに注ぐ。
- ④ 印を付けた方のコーヒーのみを、田池留吉に心を向け、愛の円盤の上に一瞬置く。
- ⑤ 両方のコーヒーをお盆に載せ、目を閉じ、くるくる回す。
- ⑥ 味などを飲み比べる。
- ⑦ 「④、⑤、⑥」を四回繰り返し返してみた。

結果

・一回目 スッキリした味の方を確認したら、印あり（愛の上に置いた方）の方だった。

・二回目 飲もうと思って手に持った瞬間、何か……、優しさと言うのかそういうものを感じたのでその方を確認したら、印ありの方だった。

そうか、すべては波動なんだ。コーヒーとして見るのではなく、波動として感じてみようと思つて、続けて実験を繰り返し続けた。

・三回目も同じ結果だった。優しいなあ〜と感じた方を確認したら印のある方だった。まさか……、四回目をするのが怖くなったけど、よけいなことを考えず、素直に感じたままを正直に……と、またやった。

・四回目も同じ結果だった。ビックリした。

波動なんだろうと思った。そうだ、そうだ、波

動なんだと、嬉しくなった!!嬉しくなって、ど
んどん実験をやってみようと思った。毎日毎日
実験を繰り返して、レポートを書いて桐生さん
に送ろうと思った。

その2 十六本骨傘

三カ月ほど前に十六本骨傘をネットで購入し
た。届いた傘は閉じて胴を縛った時、何となく
おさまりが悪く、骨の向きがばらついていてるの
で嫌だった。

今日、急にそうだ!!と思つて、
愛の円盤に触れて実験してみよう
かと思ひながら、その傘を手に持
ち、もう一度開いて閉じて縛り直
してみたら、すっと骨が収まって
きれいな円にまとまった。

エッ! まだ円盤も持つてきてな
いの、思っただけで……!?



そういうことなんだ!と思う、思いを向ける、
愛を思い思いを向ける、それだけでこんなに
……!?! ビックリした!!

若干不良品だった傘が急に愛おしくなって、
ありがとう、これからもよろしくね!!つて思っ
た。嬉しい!! そうか、そうか、どんなもの
もどんなものも、こうして、こうやってお付
き合ひしていけばいいんだ…、すべては愛に目
覚めていくための愛だったんだ……、ウツヒヨ
……!!

ほんのついさつきまで、あんな奴と
は別れてやる……!!と思つていたの
に、私は間違つてたつて思つた。あり
がとう、愛の実験!!

自分が愛に目覚めていくために用意
してきた自分の色々。時には? 大方、
その肉に振り回され捕らわれ埋没して

いくけれど、それでもふつと愛に思いが向くと、一気にそこから浮上する、そんな体験の繰り返し。

愛に帰るための教材。他力にはまるとなかなかこのことには気付けない。逆の方向に一生懸命突き進むことになる。これをずっとやってきたのだ。

愛に目覚めていくためのもの、自分が愛だと確信していくためにあるすべて。そう捉えられると、こんなに有難いものはない。それを促してくれるのが愛のカード。肌身離さず愛のカードと共に……、その意味がうなずける。愛の実験が楽しい。

その3 夫婦でびっくり一発消臭、トイレ編

洗剤で掃除をしても消えないトイレの匂い、芳香剤は苦手なのでそのままにしてみました。が、今日掃除をした後、便器に愛の円盤を張り

ました。

その後何分かして主人がトイレを使用し、その後私が使用しました。

二人ともトイレの匂いがまったくしなくなっているのに驚きました。すごい!! その次入った時には、空気までもがクリーンになっていると感じました。思わず思いっきり丹田呼吸をしました。爽快です。

食洗器も意識！

夕食後の片づけで食洗器を使用しました。

五分くらいすると、音声で「水漏れが発生しています。すぐに水道栓を閉めて下さい」と、繰り返し流れてきて、あわてて取扱説明書を見たり、電話をしたりして、やっとのことで、止水栓を止めることができました。

ほっとして、ふと見ると、いつの間にか、愛の円盤が食洗器のドアのところに、貼り付いてありました。

水漏れしたら大変とか、大事にならないようにとか、他力の思いだったのでしよう。

改めて、愛の円盤を手に取り、田池留吉に心を向け、田池留吉を思いました。

翌日、修理の方に見てもらったところ、故障がないようなので、しばらく様子を見ることに

なりました。

その後も正常に動いてくれています。

愛の円盤から流れるエネルギー、食洗器も物ではなく、意識だと思えました。



愛の体験談 —— 円陣の中に、蜘蛛



第二〇回UTAセミナーの前の週に、風邪をひきました。

夜寝ている時に咳が出て、鼻が詰まり、寝苦しい夜を過ごしました。

翌日寝る前に、田池留吉に向けて、愛の玉子で喉をさすりました。

すると、その夜は咳も鼻づまりもうんとましになり、眠れました。

翌朝、ほとんど治った状態で、夕方には散歩に行けるまでに回復しました。

回復の速度の速いことに驚きました。

第二〇回セミナーで、会場の円陣の中に、蜘蛛がいました。

そのまま中にいると、踏まれるかもしれない

ので、外に出そうとして、手で捕まえようとするのですが、なかなか手に乗ってくれません。

家内が、「これを使い」と言って愛の円盤を出しました。

愛の円盤を蜘蛛の前に置くと、すぐに乗ってくれました。

そのまま会場の外に出して逃がしました。

その後で、愛の円盤はすごいと、二人で話していました。

実験をしようと思い、二、三か月前より、愛の水素水を顔に塗っています。

だんだんと顔のシミが、薄くなってきました。

これを続ければ、いずれ消えるのではないかな、と思いき楽しみにしています。

土踏まずからぬくもりを

——呼吸はぬくもりを運ぶ…

呼吸はぬくもりです。

意識も、内なる愛も、ぬくもりも目には見えません。

目に見えない、心でしか感じる事ができません。

私は、愛の円盤とたまごをつかって、朝晩の瞑想で一緒にぬくもりを感じています。今日は、皆さんにもご紹介させて頂きます。本当にぬくもりを身体中で感じられるのです。私は、「ぬくもり深呼吸」って呼んでいます。

ぬくもりを息を吸うのと同時に足の裏から入れ、頭まで上昇させ、頭までいったら息を止めて、頭の中をぬくもりでいっぱい満たし、その後、息をはきながら、頭から足先にぬくもり

を下降させてみました。

ぬくもりで身体中がポカポカになり、ぬくもりで、内なる愛で満たされた気持ちになったよ
うな感じがします。

タイケトメキチを思える事が「ありがとう」です

五月のセミナーの時です。食事の時に お部屋の方たちと愛の円盤に色々載せて味の変化を、楽しんでいました。びつくりするぐらい変わる味にびつくりを通り越し、少し驚愕してしまいました。パイナップルの味の変化が、美味しいのだけれど合点がいかない……という感じで、お部屋の人が「味が丸くなつたから？ いつも酸味と刺すような味がないから？」……って聞いてくれました。

その通りでした。私が、美味しいと思っていた味は、本当の味ではなかったという事だったのです。全てがそうなのだろうと、思いました。本当の幸せ、本当の愛、私が本当と思つてきたものは、本当ではなかったのです。

そんな体験でした。

昨夜も、びつくりすることがありました。いつものように円盤に夕食のおかずを乗せてから、食卓へ……好き嫌い一杯の旦那さんが、いままで食べたことないプリーツレタスの山盛りプルコギを乗せ美味しいと、食べているのです。

「吐く」とか、「のど越さへんとか」と言つて食べなかつた主人がです。

びつくりしすぎて 吐きそうでした。

「タイケトメキチを思い反転」……を、「治れ」の念をいれ息子の病気が最悪になり、その時に水の体験で「田池先生の言っている事ほんまって本真やく」って、体に雷が落ちたような、その時のタイケトメキチは、何も無いタイケトメキチだったので。

はじまり……やつと、はじまりです。

お母さんは、どれだけの事を教えてくれて、
「帰っておいで」と伝えてくれているのだろう。

大嫌いで、大好きで、恨んで、求め続けた
お母さんへ、ありがとう……納得です。



愛のグッズを使つての体験

◇セミナーの帰りのドライブでいつも助手席で眠くなることがあり、今までは飴や飲み物で眠気を覚ましていましたが、初めて愛のたまごを頭に乗せてクルクルと撫でました。今までの眠気はすつとび、ずつと眠くならなかった体験にびつくりしました。

◇メガネの実験 鼻の定位置で止まらず、いつも少しずれ落ちてしまうので、もうあきらめていました。セミナー最後の日、愛を思つての瞑想で先生が「身体の気になるところに向けて、またメガネとかでもいいですよ」と言われました。その時メガネでやってみました。するとびつたりはまり、ずれない体験をしました。帰りに車で帰ったのですが、家についてもびつたりとずれませんでした。私のは例外だと思つていたのです。実験を

して体験することが楽しくなりました。

◇町内会の溝掃除の後で、いただいたコーラ、いまいちの味でした。愛の十二支のカードを敷いてから飲んでみました。思つたとおり味は本当にまるやかで飲みやすくなりました。

◇私は気持ち沈んでしまい、悲しくなつて無気力になるところがあります。過去世の私に心を向けて、一緒に愛に心を向けるようにするのですが、頭がボーとして気力が湧かなくて苦しかった時、ふと思ひ、愛の十二支カードで頭をさわり愛を思いました。すつきり、不思議、心が一瞬で変わっていました。嬉しかったです。愛に向ける大切さを痛感しました。頭でわかるということとは全然違うことがよくよくわかりました。

愛の水素水でカイワレを育てる実験をしました

以前、カイワレを育てて琵琶湖の水の変化を調べる実験を行った時、何種類かの水の中で、水素水の生育が一番悪いという結果が出ました。セミナーの講話の中で、田池先生が「愛の水素水は植物にもいいのです。」とおっしゃっていましたので、愛の水素水と普通の水素水を使い、カイワレを育てる実験をしました。以前の実験では普通の水素水を使っていました。

今回の実験では、愛の水素水はボトルで作った水素水を愛の円盤の上に置いたもの、普通の水素水はボトルで作って何もしていないものを使用しています。各々カップを二個ずつ用意し実験を行いました。

実験手順

- ① 四個のカップを用意し、それぞれのカップの底にキッチンペーパーを敷く。
- ② 二個のカップ（青シール）に愛の水素水、残り二個のカップに普通の水素水をキッチンペーパーが濡れるぐらいに注ぐ。
- ③ 各カップに種を二〇粒ずつ入れる。
- ④ 発芽するまでは、ダンボールなどを上からかぶせて暗くする。
- ⑤ 発芽したら、かぶせていたものを取り、直射日光の当たらない明るい所に置く。
- ⑥ キッチンペーパーが湿かないように、それぞれの水素水を補充する。

経過観察

一日目 種まき（五月二十日）

二日目 どちらの水素水のカップもほぼ同時に発芽する。（以前の実験の時より早い）

三日目 早くも両者に違いが現れる。愛の水素水の方が茎は太く、全体的にしっかりとした感じがする。

四日目 愛の水素水のカイワレの茎が立ち上がり始める。両者を比べると、明らかに愛の水素水の方が成長が早いことが分かる。

五日目 愛の水素水のカイワレが、普通の水素水のものより倍ぐらい良く育っている。

六日目 順調に育っているカイワレの本数を数えてみる。（種まきは各二〇粒ずつ）

愛の水素水 一五本、一六本

普通の水素水 七本、九本

愛の水素水のカイワレは、茎が長く（カツ

プの高さを超えた）、まっすぐにピンと立っているものが多い。普通の水素水のは、茎の長さがカップの中間ぐらいまでで、曲がったり、あまり勢いがない。

七日目 それぞれのカイワレをオーリングテストし、食べ比べてみました。オーリングテストは愛の水素水のカイワレの方が固かったです。

味は、子供たちも一緒に食べ比べてみましたが、普通の水素水のカイワレは辛みがとても強く、愛の水素水のカイワレは辛みが少なく、甘みもあり、とてもおいしかったです。

カップの底に敷いたキッチンペーパーの色が、愛の水素水の方は白いままだったのに対し、普通の水素水の方は薄い茶色に変化していた。



実験を終えて、ある程度の予想はしていましたが、ここまではつきりとした違いが出たことに驚きました。カイワレの成長を身近で感じながら、ふとした時に愛に心を向ける、そんな時間をたくさん持たせていただきました。肉體細胞に優しい良い水を飲んで、死ぬまで元気で自分との約束を必ず果たしていきたいと思いました。

愛の靴にして履かせたりっ！

今年の四月から三歳になる息子が幼稚園に通い出しました。慣れるまでに二週間程かかりましたが、今は楽しそうに通っています。

幼稚園に入園して以来、よく怪我をしてくるようになりました。例えば、電車ごっこを

していて転げた際に机で耳の後ろを打って、こぶができてたり、軽い内出血の痕がみられたり。まだ本人はうまく説明が出来ない事もあり、私もどうなつて怪我したのかが分からない時もありました。一番多いのが膝の怪我で、よく擦りむいて



帰ってきて、ひどい時は血で汚れてしまった靴下を履き替えさせてもらって帰ってきていました。

私は、「怪我はまあ……するもんだしなあ」とあまり気に止めていなかったのですが、母に話したところ、「愛の靴にして履かせたりっ」って言われました。

私は息子のお弁当は愛のお弁当にして持たせたりしてましたが、靴はしてなかった！っと、ハツとしました。

次の日の朝、幼稚園に行く前に愛の円盤でやつ



てから出かけたなら、その日からこけなくなりま
した。え？ 本当に？ って思い、やっぱりびつ
くりしました。

それまでは怪我が治りかけても、また転ぶの
で、ずっと怪我が治らない状態でした。本人は
消毒も塗り薬も絆創膏も嫌がるので何もしない
で、いつも痛々しいなあ……って思ってたので、
本当に良かったです。今はだんだん治ってきて、
膝はキレイになりそうです。



少し前まで、私は何でもかんでも「愛」に頼
るのは違うんじゃないかっていう思いがありま
した。今思うと素直さに欠けていました。先生
が言ってる実験して驚いて、自分で納得しない
とダメだなあと思いました。頼るって思いが間
違ってたなあ……己が偉いんだなあと思い、今
は何でも素直に実験してます。

三月のセミナーで愛のCDでオーリングをし
た際に初めてかたくなり、まったく開かない体
験をし、びっくりしま
した。それまでは、か
たくて開かないって
いう事がなかったの
で本当にびっくりし
ました。ありがとうございます。



今は怪我也治りそうです。

結婚指輪

結婚指輪——この指輪は私にとって、とても大切で、結婚以来ずっとはめたまま共に過ごしてきました。

それから何十年、だんだん年を重ねていくうちに指も太くなって外すことが出来なくなりました。指の付け根の方はまだ余裕があつて「痛い」とか「血流が悪くなる」とかはなかったのですが、薬指の中ほどの節のあたりが太く大きくなって、指輪はもう抜けなくなつてしまいました。でも痛くもなかったのです、このままずっとはめておこうと思っていました。

そんな折、指輪に愛を入れていただく機会がありました。二日程して改めて左手を眺めていると、私はこの指輪を通して肉の幸せを信じていた自分だつたと思いました。私の結婚は全部

幸せ尽くめでしたとはいかないけれど、幸せでした。子供達も成人して私達夫婦の許を巣立っていき、たまに孫達の顔を見て喜んでる私でした。今、この指輪を見ながら肉の幸せを大切に思ってきた私でした。ずっと私はこんな小さな心を指輪に強いてきた自分だつたと思うと、肉体細胞にごめんなさいと涙が出ました。

その時、肉体細胞は「あなたの執着ですよ」と伝えてくれていたことが心に伝わってきて、「ごめんなさい、ありがとう」と思うと、もう指輪は外そうと思いました。でも若い頃と違って指は太くなつて、とても無理でした。

愛の円盤に左手を載せて田池留吉に心を向け、右手でもう一つの円盤の愛の文字を撫でながらその手でゆっくりゆっくり、本当に気持ち

を少しずつ指先に移動しているように感じながら、とうとう外れました。

とても嬉しかったです。三十分の作業の時間に肉の幸せを信じてきた自分、肉体細胞の優しい思いに触れる反省と気付きの時間をいただきました。本当にありがとうございました。



今、提示されている課題に向って……

「ご主人の横に入りなさい」と、言っていただけで三十年、ようやくでした。ようやく、夫と共にセミナーに参加することができました。

「一緒にセミナーに行きたい、一緒に勉強したい」、その一言が言えなくて。

長かったです、長かったです。

夫にありがとう、みんなにありがとうです。

ある日突然、夫の母との同居、夫を中心に、来る日も来る日も嫁と姑の戦争が。

「頼りにしていた大事な息子を取り上げた憎き嫁」「夫は私のもの、あなたの思うようになんかせせない。」

責め合い、裁き合い、競い合って、自分から流れている真っ黒なエネルギーの中でたく

たになりながら苦しい毎日でした。

そんな時、初めて私は田池留吉という方に出会わせていただきました。

まだお会いしたこともなく、どのような方かも分らないままに、電話の向こうから淡々と話してくださる、お話しに耳を傾けていました。そんな中で私に最初に言ってくくださったことは、「ご主人の横に入りなさい」「入れない時はどうしてか心を見てください」ということでした。「変なことを言われる人やな、確か高等学校の校長先生で立派な方だと聞いていたのにと思いました。」

けれども、そんな私の思いとは別に、お話しを聞いているうちに波立っていた私の心が和らぎ、訳の分らない涙が、後から後から溢れてく

るのです。不思議な感覚の中で、最後に「何か質問はありませんか」と、聞いてくださる先生に「何も嬉しいことも悲しいこともないのに、どうしてこんなに涙が出るのですか」と尋ねていました。

「あなたの中の方が喜んでおられるのです」と。

あれから三十年の年月が流れていきました

そして私は、姑との葛藤から逃れるように、あちらのセミナー、こちらのセミナーと田池先生の肉を追ってセミナーに参加するようになりました。

ある時、先生は私に「お姑さんはあなたに一番愛をくれる人なんですよ」と、けれども私には、先生のおっしゃっている意味が分りませんでした。

「どうしてあの人が愛なのよ、あの人が愛だなんて、私に愛をくれるなんて、私に苦しみばかり与える人がどうして愛なんかくれるのよ。」

と反発の思いを出していました。

肉を基盤に、肉しか見れない、肉しか信じられなかった、私には、言ってもらっていることの意味を理解することができなかつたのです。

セミナーも回を重ねるごとに、参加される人数と、ともに、ご夫婦で参加される人達の数も増えていきました。そんな人達の中で、私は、「夫と一緒に参加して気を遣うより自分一人で自由気儘にしているほうがいい、幸い夫は私にセミナーに行くなどは言わない、むしろ、協力てくれる、こんな楽なことはない」と一人でセミナーに参加し続けていました。

そんな私がいつの頃からか自分の前に仲良く肩を並べて座っておられる幸せそうなご夫婦の方達を見て、「いいなあ」と思うようになっていました。「羨ましいなあ」と思うようになっていました。

そして、闇の大噴出が始まりました。

ある時、奥さんが前に出られて闇出しをされている様子をこちらで見守っておられたご主人が闇出しが終わって席に戻って来られた奥さんと顔を見合わせて、ニコツとされるその様子を目にした時、私の中から何かがどつと噴き上げてきました。

「寂しいー寂しい、寂しい」

心の中が叫んでいました。私の心は寂しさでいっぱいでした。底知れない寂しさが私の心を覆っていました。

「寂しい、夫と一緒に来たい、この場に夫と二人で座りたい」初めて心から思いました。

心の底から込み上げてくる底知れない寂しさと闘いながら、それでも私は、夫の前に行く。「セミナーと一緒にいきたい、寂しい」その一言が言えなかったんです。

「お前なんかは頭を下げるもんか、頭を下げてたまるかー。決して頭をさげたりはしない」と、偉い偉い私が頭をもたげてきました。

本当は素直になりたい、素直になりたい、苦しい、苦しい私だったのに……。

セミナーの講話の中で、あるいはHPの中で先生が話される、「あなたが変わればいいのです」、この言葉がぐさつと心に突き刺さりました。変わりたい、変われない、苦しかったー。

講話の中で、ホームページの中で、夫婦という言葉を耳にし、目にする度にその文字を飛ばして読もうとするのですが、そうすればするほど、その文字が心に迫ってくるのです。

苦しかった、どうしようもないほど苦しかった。

明けても暮れても夫婦で学ぶという言葉が心の中をぐるぐる回って……。

セミナーの仲間達の助言も私にとっては苦しみでしかなかったんです。

私の心はもうギリギリのところまでできていました。土俵際にまで追い詰められて、それでも

まだ爪先立って踏ん張っている、強情な私が、苦しい苦しい私がありました。

自分に素直になれない私、偉い偉い私が……

三月の第十九回UTA会セミナーの申し込み、振り込み用紙に自分の名前を記入しながら、今ここに夫の名前を記入できない寂しさが心を覆っていました。

三十年もの長い間、セミナーに自由に参加させてもらいながら、夫にはただの一度も真剣に接したことがなかったと思うと苦しかった。

セミナーも残すこと後五回。

このまま夫に伝えることができなければ私は、一生後悔する、その思いが込み上げてきて、これまで長い年月を、我が儘気儘にしてきた私を、黙って許してくれたに夫に申し訳ない思いでいっぱいになりました。「冷たかった、申し訳なかった」と思いました。

ごめんでした、ごめんでした。

一度でもいい、夫をあの場に、あの場に夫と一緒に座りたいと思いました。

「一度でもいい、二人揃ってあの場に行きたい、セミナーのあの場に二人で座りたい」。

再びあの時の思いが噴き上げてきました。

夫の前に行っていました。

夫がどのように思い、どのような返事を返してくれようとよかった、ただ、夫に自分のこの、思いを、寂しいこの思いを伝えたかった。伝えたかったんです。

夫に自分の思いを言えたことが嬉しかった素直に言えたことが嬉しかった。

自分に素直になれたことが嬉しかった。

第十九回UTA会セミナーがもう目前に迫っていました。一週間前でした。

突然の申し込みに迷惑ではないかと問う私に、喜んで受け入れてくださるとの優しい返事

が返ってきました。嬉しかったです。

セミナーの参加申し込み用紙に初めて夫の名前と年齢を書き込んだ時、喜びと共に過ぎ去って年月の長さとともに私の冷たさ傲慢さを改めて思い、夫に対するすまなさ、ありがとうの思いで涙があふれてきました。

ごめんでした、本当にごめんでした。

「ご主人の横に入りなさい。」

「あなたのお姑さんは、あなたに一番愛をくれる人なんですよ。」

あの時にもらった言葉が、今、ようやく、ようやく、「そうでした」「本当にそうでした」と、私の心に響いてきます。

「間違っていた、間違っていました」と。

すべては私でした。姑ではなかった。夫ではなかった。私だった。

夫と共に学ぶことを拒否していたのも、夫をセミナーに来させなくしていたのも私でした。

心を外に夫の肉を見て、姑の肉を挿んで苦しんでいたのも私だったのです。

ただただ心を見っていきます。田池留吉に心の針を向けていきます。残された今世の肉の時間を大切に、今、提示されている課題に向って真剣に取り組んでいきます。ありがとうございました。

送風機に、ありがとう、ごめんなさい

第二十回のセミナーから帰宅した次の日、洗濯物を干しながら床下の送風機の音がかなり酷くて、前々からもう古いから修理するよりも取り外すか、線を切ってしまったほうが良いと思っていました。

それが今までの私でした。今回はちょっとそれが違っていました。私は自分の思い通り行かない事は念力、パワーで支配してきたんだと、それが叶わなければ抹殺してきました。

送風機を思いながら自分の思い通りに行かない時に使っている心はこれだとやっと気付きました。遅い遅い気付きます。それ程自分の中に染み込んでしまっていると、そんな事を思いながら洗濯物を干し終えたとき、送風機の音が静かになっていました。

送風機に「ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」って思い、家に入りました。

それから毎日洗濯物を干すとき、今日は送風機、どうかなくて、楽しみに来て来て、今日で半月過ぎました。今まで本当にこんなことがあるのかなって信じてませんでした。でも、これは凄いつて思いました。他の事は何もしていないから本当なんだって毎日が楽しみです。

こんな私からでも愛は流れているんですね。うれしくなって……ありがとう

愛の道具を使った体験

愛の道具を使った体験をさせていただいたので、体験談を送らせて頂きます。

円盤の効果で手足の荒れが消え、快眠ができた、と喜んでいました。

ですが、最近舞いあがって(？)、睡眠不足に戻ってしまいました。

実は、眠れるようになったとき、「もう大丈夫」と円盤を就寝前に見ないようになっており、就寝前に肉体に「ありがとう、ごめん、ありがとう」と思いを向ける時も、どこか義務的な部分というか、「やらなければいけない」と思いながら、やっていたように思います。

それを思い出し、就寝前は円盤を見て肉体細胞に思いを向けるようにしたのですが、円盤を見てみると、「ああ、今日一日、すさまじいエ

ネルギーを出してきた、肉体細胞に申し訳ない」「やらなければいけない、というのは、なんて肉体に冷たい思いなんだろう」「ああ、冷たい、冷たかった」「肉体に、眠れ！ と命令していた」という思いが次々と出て来ました。

最近では、その思いを反転し、愛のたまごで足裏マッサージしてから就寝しています。

愛のたまごに思いを向け、足裏マッサージしてから眠ると、身体がポカポカします。

寝付きが悪い時もありますが、七時間前後は眠れるようになります、朝は気分が良いです。

眠れるようになった安心感とありがたさを感じつつ、愛の道具がないと中々思いを向けられない、まだまだな自分を感じますが、それもどこか嬉しく思えるようになってきました。

優しく、そして大切な肉體細胞

朝目覚めると、「ありがとう」から始まり、眠るときは「ありがとう、ごめんさい、ありがとう」で終わります。

食事の時は家族でＯリング、愛の円盤に思いを向け美味しい食事です。

庭木も今年は愛の水で生き生き、花実も驚くほどつき、凄いと驚く嬉しい一日です。

特別な事はない平凡な一日です。

ときどきムカツとしたり怒ったりして、どこが間違ってたんだらうと心を見て反転して喜んでいきます。

娘たちに、「それっていい体験じゃない」と言われ、あー、去年までの私とは違うと思いましたが、私にいい体験じゃありません。

私は身体が弱い方で、難病（ポリフェリン症）

の疑いで病院の手紙を常備するように言われ、発作が起きたらこの手紙を見せて救急で診てもらってくださいと言われていますが、薬を飲むこともなく、学んで来しました。

今年が発作が一度も起きていません。

おや、「発作」が来るかなと思うと、休んで心を観る時間を多く頂きます。

自分の弱い身体を嫌がっていたのですが、弱い肉體は、私に「貴方は間違っていますよ」と優しく気付かせてくれていると少し思えるようになりました。

自分の都合のよい、丈夫な肉體が良かったと不平、不満の私から、これで良かったに変わり始めました。

私の欲深な闇の自分に気付かせてくれる優し



く、そして大切な肉体細胞です。
申し訳なく、ごめんなさい、の思いですが、
ありがとうございます、と伝えるようになってきました。
何も出来ておらず、真つ暗だと気付かされる
日々ですが、学べる時間があることが喜びです。
ありがとうございます。

ぬくもりの眠りに誘われて

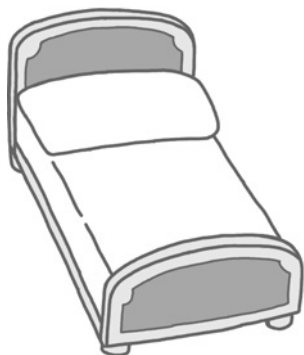
五月のセミナー後、枕の下に、愛の円盤を置いて寝るようになってから、熟睡出来る様になり、目覚めがいいのです……。

ふっと、朝起きて、ふるさとを流し……、内なるタイケトメキチにこころを向けて、「おはようございます」。続いて「肉体細胞さん、おはようございます」。今日一日よろしくお願います」と続いて、亡くなった両親、妹、息子、娘、亡くなった主人に挨拶をします。

そして、家にも、「お早うございます、よろしくお願います」と言って、朝の支度をするのが日課となりました。

何か、喜びで溢れて、楽しく支度が出来、素晴らしい一日を迎えられる、そんな気持ちになります……。

夜は、瞑想後、「おやすみなさい」と、同じ様にやってみようと思えます……。



愛の円盤を使って、びっくりしました！

愛の円盤を使って、びっくりしました。

朝起きて首の右あたりが痛く、夕べ寝るときに横になって寝て、「ひよつとして寝違ったかな？」と思って首を右左と頭を回したり、いろいろしてみたけど全然治らなくて、そうだ、あの愛の円盤か、愛のハンカチを水素水に浸してそこに当てて見ようと思った。

先に愛の円盤で試みて、治らない時は愛のハンカチにしようと思っていた。

まず、パソコンを開けて、それから、愛の円盤で心を肉體細胞に向けて、「いつもありがとう ごめんね、ありがとうありがとう」って言って、三分位その円盤を痛い首筋に当てていた。

そうすると、だんだん暖かくなってきて、それを取って首を動かしてみても、本当にびっくり、

びっくり。さっきまであれほど痛かったのが、ウソのように痛くなくなっていた。

以前にも手が引きつって、そこに愛のハンカチを水素水に浸して、当てていたら治った時があったけど、今朝ほど愛の円盤のすごさを信じていなかったのかもしれない。

今朝は本当に愛の円盤のすごさを改めて教えて頂きました。これは田池先生がいつもいつも言っておられた、「ただの円盤ではない」って事だと思いました。

目に見えない、これが愛の波動、愛のエネルギー、やっぱりこれは本物だ。嬉しかったです。本当にありがとうございました

トラのファンですか？

一昨日から突然、我が家のお風呂の水が出なくなりました。洗面所、台所、トイレの水は出るのに……。

一年前、お風呂をリフォームしたばかりなのに……。

すぐに工事してくれた業者さんに電話を入れ、見に来てもらう手配をしました。「きつと、去年の工事の時に何かゴミでも詰ったのでは？」と業者の工事を疑いました。

今朝、業者さんが来てくれるまでの間、愛の円盤を蛇口に付けてみたりしましたが、一向に改善が見られませんでした。やはりダメだ……。

私はなかなか愛の円盤を信じられませんでした。「本当に愛が流れてるのか？」と半信半疑

でした。田池留吉も、愛も、なかなか素直に信じるのが出来ない己偉い私でした。

今朝、業者さんが早速来て、いろいろやってくれましたが、原因は分からず、壁を壊して中の水道管が詰ってるからかもしれない……とのことでした。

大変だ！ 大工事になる！ お風呂に入れな
い！と思いました。

その時、業者さんが湯船に置いてあった愛の円盤（寅）を見て、「トラのファンですか？」と。

私は、「あ！ そうだ……円盤を置いたままだった……」と思いました。そして嬉しくなりました。

その業者さんも寅の円盤を見て、「僕はジャ

「イアンツファンなんです」と言いました。

私は、「ああ、虎ファンって、阪神ファンの意味だったのか」と心の中で思い、何だか嬉しくなりました。

次の瞬間、蛇口から水がいっぱい出てきました！業者さんもびっくり！

わくわく何だか分からないけど……水が出てきて良かった〜!!と二人で喜びました。

そして「愛の円盤の奇跡だ!」と思いました。何も思わず、ただ二人で愛の円盤に思いを向けたその瞬間、水がどつと出てきたのです。

なかなか信じられない私にも、今回の体験は「愛のエネルギーが仕事をした!」と確信出来ました。

とてもうれしい体験でした。なかなか信じられない私に今回の体験は驚きでした。突然水が出なくなり、そして愛の円盤の寅に何も思わず心に向けた瞬間、水が出てきました。業者さん

も喜び、私も喜び笑顔でありがとう……でした。不思議な思いがけない体験でした。疑り深い私にこんな体験をさせてもらえて嬉しい限りです。「信じて行こう」と思われた体験でした。



愛の十二支カードと共に

五月のセミナーの後、愛の十二支カードが我家にある生活が始まりました。いつでも目に入る様にと食卓に置きました。

次の日の朝、食卓の上に置いた「申のカード」をただの絵と素通りしている自分に気がつきました。えっ、なぜ？……。

ホームページで愛の十二支カードを知った時、「肉（形）なのにどうして？」という思いが瞬時に出てきました。でも、田池先生がされることだから何か意味があると……。そして愛の十二支カードを「肉」と捉えたのは私だった。既に、このカードは私が肉基盤である事を伝えてくれている。凄い愛のグッズの登場だ。やっぱり田池先生は凄いと嬉しくなった体験があったからです。

それなのに、私はこの気づきに「反転と愛」を伝えていなかったのではと思ひ、急いでノートを振り返りました。

やはり反転していませんでした。だから、私は愛の十二支カードをただの絵と素通りしたんだと納得しました。

夫や母に熱く語っていながら、この気づきに「愛と真実」を伝えていなかったのです。肉、肉、肉でした。「申のカード」を持って、ごめんなさい、ありがとう、反転。異語が上がります。全ては私。私は愛、愛、愛でした。間違っていました、間違っていました。肉は解らなくていいんだ。ただ、田池留吉に心を向けていれればいいんだ。そうすれば肉は整っていく。肉で「あれはあれ」「これはこれ」としているのは私だ

と伝えてくれました。

それからは、全てのモノから愛を感じます。
意識の世界からの叫びで溢れています。気づか
ずにごめんね、いつも一緒にいてくれたんだね、
ありがとう。これからも、自分と自分との会話を
続けていきます。



「あなたに気付いてほしいのです」

少し前からこむら返りが起き、その日は外出中に足がつったようになり、さすったりしていましたが治らず、しばらく椅子でやすんでいました。一向に良くならないので、バッグに入っていた愛の円盤で足をさすり、思いを向けました。

すると「肉体細胞、ごめんなさい、ごめんなさい、」と出てきました。

しばらく続けていると、嘘のようにこわばりと、突っ張ったような痛みがとれ、普通に歩いて帰ることが出来ました。

本当に肉体細胞に「ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」しかないと思わせて頂きました。肉体細胞からは、「あなたに気付いてほしいのです。私達は待っているのです。心に向け

てください。」と伝えてくれました。

昨年の十二月のはじめに友達から室内用のシクラメンを頂きました。

純水の水をやり、愛の円盤を頂いてからは、植木鉢の下に引いて、思いを向けました。今で半年経ちますが、ずっと綺麗な花が咲き続け、今も葉が緑色でつやつやしています。愛のエネルギーが働いてくれていると思い、シクラメンが愛おしく、ありがとうの気持ちでいっぱいになりました。

小学生の孫達が遊びに来た時、いつもジュー

スやアクエリアスを飲みたがりますが、純水を
すすめたところ、ひとくち飲んで、「このお水、
おいしい!」と言っておかわりをしました。そ
れ以来、ジュース等は欲しがらず、いつもお水
をリクエストされます。

子供達には純粋にわかるのだなあと思わせて
頂きました。

ありがとうございました。



量から質への変換

水の反転実験が始まって早二年半。当初は、味の変化も分らないし、オーリングも固くなったようなそうでないような、という期間が二年ほど続きました。

次々と愛のグッズが出てきても、まるでノルマをこなしているかのように、言われた事を試してみる程度でした。そんな状態で感動や愛の存在を感じる術もありませんでした。

ところが今年に入って、水道、ふる、冷蔵庫での実験、そして「愛の円盤」の出現など、次々と勉強の題材を提供され、地域勉強会や家庭でも、オーリングが当たり前になっていく中、私もようやく重い腰を上げて参加し始めました。

やってみると、オーリングの硬さが日によって違う、初めは軟らかくても、二回三回続ける

と固くなってゆく。そういえば味も少し円やかになってきたような……。

「何故？」と思えばしめたもの。いつの間にか、
○・一秒の世界や愛の円盤が日常生活の中に溶け込んでいきました。

「今日は固くて絶好調ね」とか「今日は軟らかいよ。思いが向いていないみたいね」とか、他愛もない会話の中にも、愛の世界が日常の中に少しずつ浸透しているような感じでした。

相変わらず「味」や「風呂」の大きな変化を感じない私なんです。以前みたいにバカにすることもなく、いつの間にか思いを向ける事が当たり前になりました。

そして、その日常の少しの変化を思うだけで何故か嬉しいんです。草書体の「愛」の文字が

依然と違うのです。草書体の「愛」の文字は、田池留吉、お母さんに繋がっていくんです。こんなこと理屈では説明できません。

「量から質への変換」というフレーズが浮かんできました。毎日毎日、食事や入浴や水を飲むたびに瞬間思いを向ける。相手が居ればオーリングテストをする。こんな簡単な事でも自分の中に変化が現れる事を体験させていただきました。ありがとうございます。



夫婦喧嘩と愛の円盤

体がかたく、いつも手がひざぐらいまでしか
いかないのが、愛の円盤をもらって両手が床に
ついた瞬間、思わず声を上げてしまいました。
本当にびっくりでした、改めてエネルギーが働
いていることを身をもって感じました。

愛の円盤を見るたびにケラケラ嬉しそうに孫
が笑います。

僕たちもそれを見て嬉しくなりました。

お風呂に入れたり、ごはんを食べるとき、水
を飲むとき、水素水を作るとき、寝るとき、起
きるとき、瞑想するとき、いつも愛の円盤と共
にいます。

愛のエネルギーが流れているなあ、うれし
なあ、常に愛と共にある、田池留吉と共にある、

ありがとう。

昨日妻と言い争いになりました。

突然妻が愛の円盤を僕に見せました。

思わずしゃべりだしている言葉が「ウツ」と
止まりました。

僕も持ちました、二人とも「ウツ」と止まり
ました。お互い、なにかしらおかしくなつてし
まい笑い出しました。

相手を攻めるために円盤を出しているのだな
い。なんかわからんけど、愛の円盤をお互い持っ
ている、それが何かすごく自然、心にしこりも
なく、なんか瞑想状態でした。

先生が以前、「持ちながら夫婦喧嘩しなさい」
と言っていたことを思い出しました。

何も言えなくなるのですね。

改めて愛の円盤はエネルギーだと感じました。こうして、自分自身が愛そのものなんだと信じていける。愛のグッズは、そのためのものなんです。ありがとうございます。





5年間、咲き続けるカーネーション

 体験文集 Vol.2 【夏号】

初版発行 2014年7月12日

編者 **UTAブック**
編集協力 宇野敏一／岡田有弘
装丁 金子 互
電子図書製作 **DEP** (株式会社シルクふあみりい)
発行 **UTAブック** (株式会社シルクふあみりい)
大阪府南河内郡河南町大宝 3-10-15
TEL FAX 0721-21-4712
印刷・製本 モリモト印刷株式会社

© UTA-BOOK, Printed in Japan 2014